

第2号議案

令和4年度事業報告書（案）



社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

目 次

総括	3
社会福祉協議会運営基盤の強化	4
在宅福祉推進事業	8
高齢者福祉事業	11
障害者福祉事業	21
児童福祉事業	27
地域福祉推進事業	30
ボランティア振興事業	35
厚生福祉事業	38
福祉関係組織活動支援	40
災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告	41

令和4年度事業報告

I 総 括

国内での感染が確認されてから3年が経過した新型コロナウイルス感染症は、今年度も第6、第7、第8波などの感染拡大を繰り返し、私たちの生活に多くの影響を与えました。また、ロシアのウクライナ侵攻や円安などからくる物価高騰は、新型コロナウイルス等による収入が減少した世帯に、さらに追い打ちをかける状況となり日々の生活に不安を抱える方が増えています。

京丹波町社会福祉協議会（以下、「本会」）では、今年度も全国的な取組みとして、引き続き生活福祉資金の特例貸付を継続的に行いましたが、本取組みも令和4年9月末をもって新規受付が終了となりました。この間、京丹波町で貸付を行った世帯は累計で92世帯となっており、今後は償還に向けた支援や今年度新規事業としてスタートした食料支援（フードバンク「わか便」）などを行いながら、継続的に関わっていく必要性を感じています。

また新型コロナウイルスによる影響は、本会の運営においても大きな打撃を与えました。会費や寄付金の減少、福祉サービス利用自粛による収益事業の減収等により、運営資金が危機的な状況となり財政調整積立金の取崩を行うこととなりました。財政健全化に向け、今年度、理事を中心とした財政改善委員会を設置し6回の委員会を開催、原因の分析や今後の方向性について協議を重ね財政改善計画を策定しました。同時に職員にも財政状況を伝え、経費の節約・削減に向けて取組みました。中でも、常勤職員（正規職員、嘱託職員）の賞与減額支給は、厳しい取組みとなりましたが、職員へ説明し一丸となって取組んだことで、何とか財政調整積立金を取崩した額以上の黒字で決算をしめることができました。しかし、財政改善の根本的な解決には、さらに今後の取組みが重要であり、計画で示した方針をもとに次年度以降もしっかりと進めていきます。

地域福祉の推進については、新型コロナウイルスの感染状況をみながら取組みを行いました。特に、コロナ禍前に第1期として策定した地域福祉活動計画は、今年度コロナ禍に即した内容に改めるため、地域活動を行っている団体の状況や活動者の声をもとに第1.5期改定版として策定しました。そのなかで、やっぱり「顔を合わせて話がしたい」「みんなで集まって交流することが大事」ということが再確認でき、感染予防対策を講じながら取組みを進めました。また、第1期から継続となる「出番づくり」では、本会デイサービスの利用者に野菜作りに関わってもらい収穫した野菜を昼食で利用したり、近隣のデイサービスとの交流ではボランティアサークルに依頼、コロナ禍で発表の場が少なくなっていたサークルの活動の場にもなりました。さらに、共同作業所の利用者やにじの家のメンバーが中心となって初めて取組んだ「コレカラー展」では、障害のある方やひきこもりがちな人等が創作活動を通じて地域との交流を図り、参加と出番づくりにつながる取組みとなりました。自由な発想で生まれた作品には参加者の素晴らしい感性や新しい発見があり来年度以降も引き続き取組んでいきます。

このように、本会が目指す地域共生社会の実現に向け取組んだ事業について、以下のとおり報告します。

II 社会福祉協議会運営基盤の強化

1 活動財源の確保

(1) 会員増強運動

社会福祉協議会(以下、「社協」)は、地域で暮らす住民の皆さんが主体となって運営される民間の団体であり、住民の皆さんに会員となっていただき住民主体の福祉活動を進めていきます。

会費を納めていただくことで、地域福祉の推進に取り組む社協の貴重な財源となり事業の運営やサービスの参加・協力を財政面で支えていただくことになります。

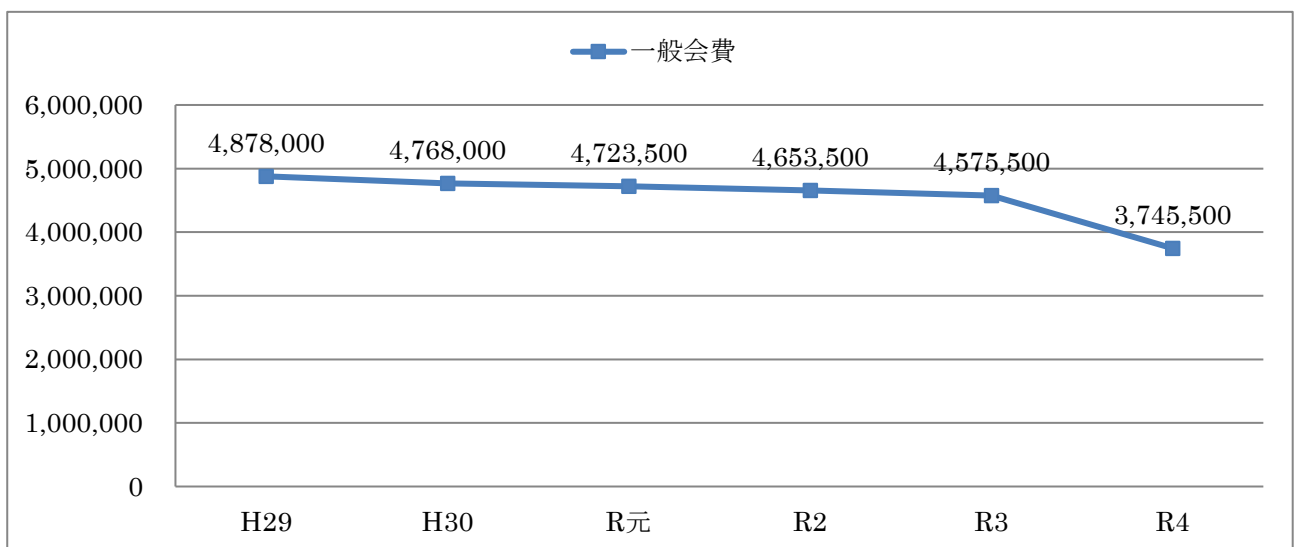
①会費納入状況

会員種別	丹波	瑞穂	和知	町外	合計	備考
一般会員	1,450,000	1,253,000	1,035,500	7,000	3,745,500	成人者：1,000円
特別会員	85,000	210,000	75,000	100,000	470,000	会社・事業所等：5,000円
賛助会員	45,000	0	6,000	0	51,000	福祉施設・団体等：3,000円
合計	1,580,000	1,463,000	1,116,500	107,000	4,266,500	

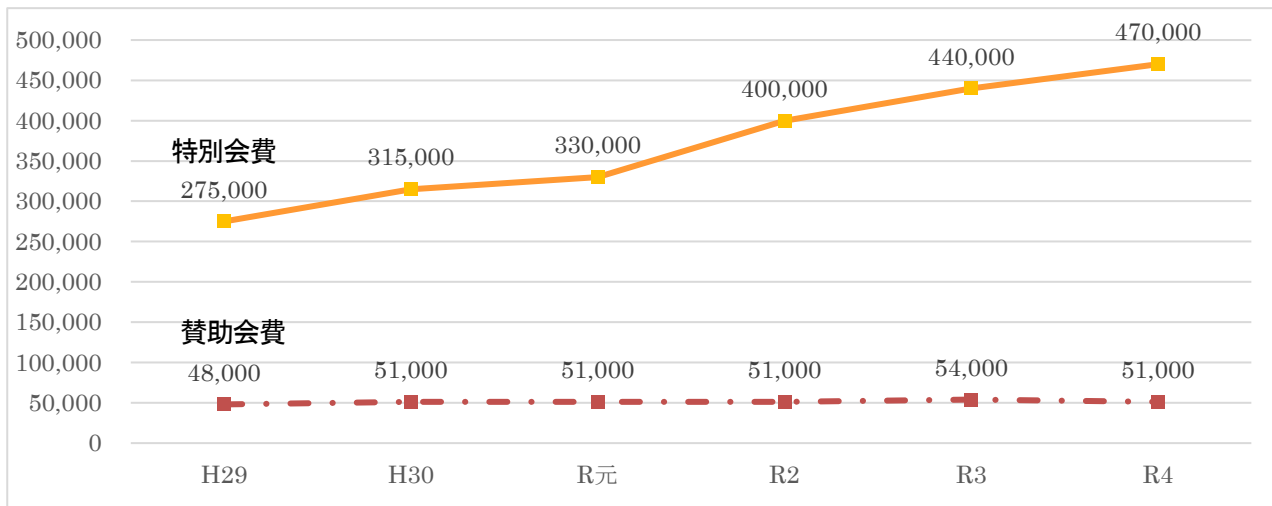
一般会費地区ごとの内訳

		H29	H30	R元	R2	R3	R4
丹波	会費	1,898,000	1,829,000	1,827,000	1,803,000	1,770,000	1,450,000
	成人数	6,165	6,057	5,959	5,855	5,808	5,821
	加入率	30.8%	30.2%	30.7%	30.8%	30.5%	24.9%
瑞穂	会費	1,611,000	1,581,000	1,554,000	1,540,000	1,519,000	1,253,000
	成人数	3,702	3,625	3,576	3,532	3,453	3,416
	加入率	43.5%	43.6%	43.5%	43.6%	44.0%	36.7%
和知	会費	1,369,000	1,355,000	1,337,500	1,305,500	1,281,500	1,035,500
	成人数	2,660	2,602	2,545	2,471	2,386	2,349
	加入率	51.5%	52.1%	52.5%	52.8%	53.7%	44.1%
全域	会費	4,878,000	4,768,000	4,723,500	4,653,500	4,575,500	3,745,500
	成人数	12,527	12,284	12,080	11,858	11,652	11,586
	加入率	38.9%	38.8%	39.1%	39.2%	39.3%	32.3%

※一般会費の推移 (単位：円)



※特別・賛助会費の推移（単位：円）



(2) ご寄付を広くお受けできるように

社協は、既存の制度や事業に取り組むだけでなく、制度による福祉サービスでは十分に対応できない問題や制度の狭間にある福祉課題・生活課題に向きあい、地域の皆さんの参加や協力をえながら地域に根ざした取組みを積極的に進めていくことが求められています。その財源として、地域の皆さんからの寄付金を活用させていただいております。

ご寄付としての支援をいただきやすくするために、地域の事業所にもご協力いただきながら次の取組みを実施しています。

①自動販売機による寄付の取組

飲み物を購入するとその売り上げの一部が自動的に京丹波町社協へ寄付される自動販売機を、町内各地に設置させていただいております。

※寄付実績

ウッディパルわち	道の駅丹波マーケス	道の駅さらびきの里	計
5,370円	41,244円	33,215円	79,829円



今年度（9月より）、新たに道の駅さらびきの里（グリーンランドみずほ株式会社）に設置いただいた。

②税額控除制度の活用

京丹波町社協は所轄庁である京都府に申請し、令和2年10月5日に税額控除対象法人としての証明書を受けた。これにより、寄付者が確定申告時に「所得控除」か「税制控除」のどちらか有利な方を選択し控除を受けていただくことができる。

2 法人運営

●会 務

(1) 理事・監事会・・・6回【書面決議含む】

R4. 5. 11	会長職務執行状況報告、評議員選任・解任委員の選任及び解任、第1回評議員会開催、財政調整積立金の取崩
R4. 6. 3	園部ライオンズクラブより寄贈、ウクライナ救援金募金箱設置、6月期末・勤勉手当支給について、4年度補正予算（案）、評議員候補者の確認、3年度事業報告（案）・決算（案）、給与規程の一部改正、財政改善委員会の設置
R4. 9. 27	会長職務執行状況報告、4年度第2次補正予算（案）、就業規則・給与規程の一部改正、第2回評議員会の開催
R4. 11. 24	会長職務執行状況報告、第2回評議員会報告（書面決議）、第2回評議員会での意見、4年度上半期事業執行状況・予算執行状況確認、第3回評議員会開催、育児・介護休業等に関する規程の一部改正、グループホーム運営要望への回答
R5. 2. 20	会長職務執行状況報告、グループホーム設置要望への返答報告、府指導監査報告、評議員候補者の確認、財政改善計画（素案）、京丹波町地域福祉活動計画1.5期（案）、第4回評議員会の開催
R5. 3. 10	会長職務執行状況報告、評議員選任・解任委員会報告、4年度第3次補正予算（案）、5年度事業計画・予算（案）、財政改善計画（最終案）、役員及び評議員・委員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正

(2) 監査会・・・2回

R4. 5. 25	3年度事業及び収支決算について監査
R4. 11. 15	4年度上半期事業執行状況及び予算執行状況について監査

(3) 評議員会・・・4回（書面決議含む）

R4. 6. 21	異動に伴う理事の承認、財政調整積立金の取崩、4年度補正予算、3年度事業報告・決算
R4. 10. 18	4年度第2次補正予算
R4. 12. 16	第2回評議員会（書面決議）でいただいた意見、4年度上半期事業執行状況・予算執行状況
R5. 3. 27	異動に伴う理事の承認、4年度第3次補正予算、5年度事業計画・予算、財政改善計画

(4) 三役・管理職会議・・・11回

R4. 5. 6	財政調整積立金の取崩、職員体制・職員募集、監事会・理事会・評議員会日程案、各課からの報告
R4. 6. 15	財政改善に向けて、人事考課制度、夏季休暇、各課からの報告
R4. 7. 12	職員からの要望、財政改善委員会、コロナ感染予防、各課からの報告
R4. 8. 8	コロナ感染予防、職員からの要望、財政改善委員会、各課からの報告
R4. 9. 8	最低賃金改定、グループホームについて、コロナ感染予防、労務、財政改善委員会、理事会・評議員会日程案、各課からの報告
R4. 10. 5	グループホームについて、財政改善委員会、各課からの報告
R4. 11. 11	予算要望、直近の課題、監査・理事会日程案、各課からの報告
R4. 12. 12	年末年始、直近の課題、各課からの報告
R5. 1. 18	グループホーム要望への回答（報告）、アルコール検知器、財政改善計画、各課からの報告
R5. 2. 13	財政改善計画、理事会日程案、各課からの報告
R5. 3. 17	来年度の体制について、事業計画、各課からの報告

(5) 各種委員会

委員会名	丹波	瑞穂	和知	合計
心配ごと相談所運営委員会		1		1
福祉資金貸付委員会	0	2	0	2
ボランティアバンク運営委員会		2		2
理事・監事推薦委員会		2		2
評議員選任・解任委員会		2		2
財政改善委員会		6		6

①財政改善委員会

- 第1回 R4. 6. 27 財政状況分析、目的、スケジュール、改善に向けた視点
- 第2回 R4. 8. 25 課題の分析、改善に向けた視点、今後の進め方
- 第3回 R4. 10. 13 財政改善計画（骨子案1）
- 第4回 R4. 12. 7 財政改善計画（骨子案2）
- 第5回 R5. 2. 3 財政改善計画（骨子案3）
- 第6回 R5. 3. 2 財政改善計画（素案）修正

(6) 管理職（課長）会議・・・13回

R4. 4. 14	財政について、人事考課制度、職員募集、今後の日程、各課からの報告、他
R4. 5. 12	財政調整積立金の取崩、人事考課制度、小学校等休業対応助成金、各課からの報告、他
R4. 6. 9	財政改善に向けて、人事考課制度、夏季休暇、各課からの報告、他
R4. 7. 11	職員からの要望、財政改善委員会、コロナ感染予防、各課からの報告、他
R4. 8. 2	コロナ感染予防、職員からの要望、財政改善委員会、小学校等休業対応助成金、各課からの報告、他
R4. 9. 6	最低賃金の改定、グループホームについて、財政改善委員会、面談者研修、労務について、各課からの報告、他
R4. 10. 3	グループホームについて、財政改善に向けて、労務について、各課からの報告、他
R4. 10. 27	変形労働時間制、他
R4. 11. 7	予算要望、各課からの報告、他
R4. 12. 6	育児休業・産後パパ育休、変形労働時間制、財政改善委員会、年末年始、各課からの報告、他
R5. 1. 12	アルコール検知器、財政改善計画、各課からの報告、他
R5. 2. 10	財政改善計画、事業計画、各課からの報告、他
R5. 3. 7	嘱託職員採用結果、財政改善計画、事業計画、各課からの報告、他

(7) 職員内部会議、職員研修・・・6回

R4. 6. 19	災害ボランティアセンター運営訓練
R4. 7. 31	面談者研修
R4. 8. 22	財政改善に向けた係長会議
R4. 9. 9	財政改善に向けた係長会議
R4. 9. 16	財政改善に向けた係長会議
R4. 9. 28	財政改善に向けた係長会議

【在宅福祉推進事業】

1 福祉サービス利用援助事業

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う。

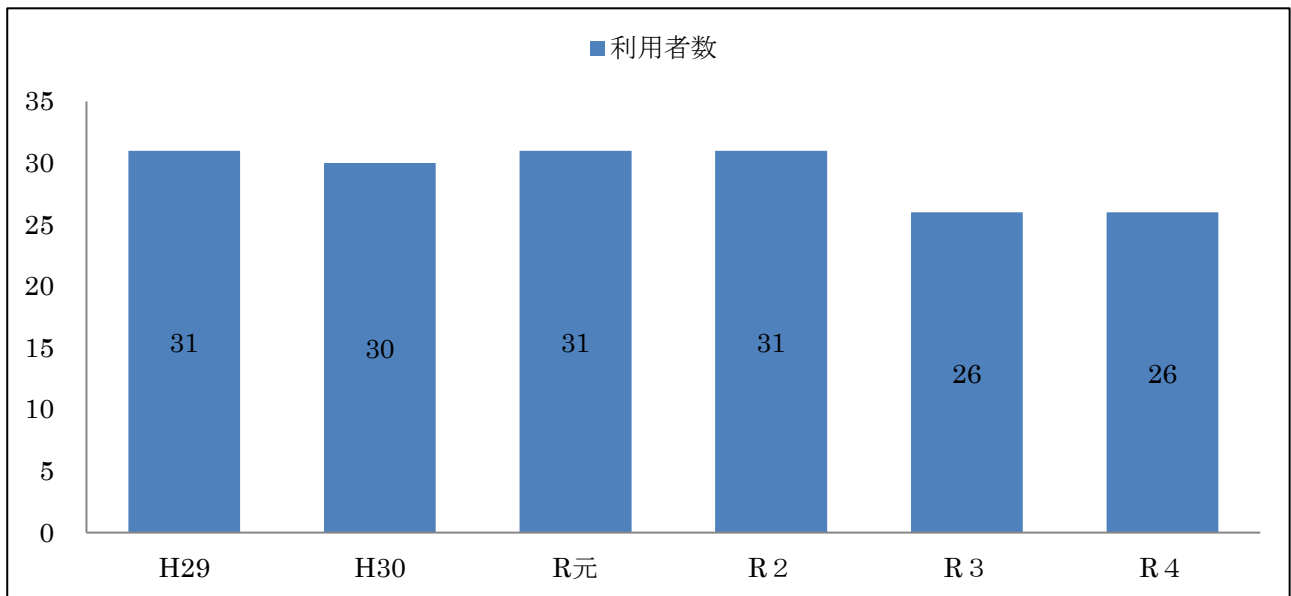
■契約・支援等の件数・・・令和5年3月31日現在

	R3年度支援件数					解約件数	新規件数	保留件数	R4年度支援件数					受給者数	生活保護件数	相談継続件数
	認知症	知的障害	精神障害	その他	計				認知症	知的障害	精神障害	その他	計			
丹波地域	5	1	4	1	11	4	4	0	4	1	4	2	11	6	0	
瑞穂地域	4	1	1	3	9	3	3	0	2	1	0	6	9	2	0	
和知地域	3	1	1	1	6	1	1	0	3	1	1	1	6	0	0	
合計	12	3	6	5	26	8	8	0	9	3	5	9	26	8	0	

①令和4年度 新規契約者数 → 8名

②令和4年度 解約者数 → 8名

■利用者数（単位：人）



■支援内容

支援内容	丹波	瑞穂	和知	合計	備考
○福祉サービス利用援助	11	9	6	26	福祉サービス利用契約手続き支援
○日常的な金銭管理	11	9	6	26	衣食住等の日常経費の管理
○通帳・印鑑の預かり	11	9	4	24	通帳・印鑑の管理
○書類等の預かりサービス	1	2	1	4	年金証書、権利証書等の預かり

■専門員・支援員研修の開催

専門員・・・8回

研 修 名	開 催 日	内 容
第1回専門員・担当職員会議	8/2	令和4年度の取組み方針の確認。非課税利用者の費用補助について
南丹B 現任生活支援員研修交流会検討会議①	8/3	令和4年度南丹ブロック生活支援員研修についての検討
南丹B 現任生活支援員研修交流会検討会議②	8/22	令和4年度南丹ブロック生活支援員研修についての検討
中部自治体と京都弁護士会との懇談会	11/7	府・町行政と社協で京都弁護士会と情報交換を行った。
南丹ブロック専門員研修	12/8	南丹ブロック生活支援員研修がコロナで参集できないため、専門員で事例検討会を実施した。
令和4年度地域福祉権利擁護事業に係る関係機関・団体等との情報・連絡会	3/2	行政、金融機関などと、お互いの制度や取組みについて情報交換を行った。
専門員実務研修・事例検討会	3/17	本事業の制度について説明。他市町村社協の事例について検討を行った。
家計相談支援研修	3/22	他市町村社協が取り組んでいる家計相談支援事業を事例とした研修

生活支援員・・・1回

研 修 名	開 催 日	内 容
令和4年度生活支援員現任研修	1/20	利用者の自己決定支援・グループワークを中心とした研修

【成果・課題】

- ・今年度は、解約ケース（8件）と新規契約の件数（8件）が同数で、現契約ケースは26件であった。新規ケースは、その他分類（金銭管理不得手など）の契約が多かった。解約の内訳は、施設入所5件、死亡3件だった。
- ・次年度早々に2件の解約が分かっているので、契約件数は減る見込み。町内の福祉職や金融機関に、まだまだ制度の理解が進んでおらず、地域の中で本事業の契約が必要な方が存在すると思われる。地域ケア会議や金融機関へ訪問して本事業の啓発を進めたいと考えている。
- ・現在の契約者の中には、判断能力がかなり低下されている方や、物価・原油価格の高騰を受け、生活が厳しくなる方がいる。そのため、本事業の必要性がより高くなると同時に支援内容が複雑化してくる。引き続き、支援を担う職員・生活支援員に求められる資質が、より一層高度になってきている印象がある。

2 住民寄り添い型助け合い活動かがやき

世帯状況の変化に伴い生活上の困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する高齢者や障害者が増えている。また、介護保険法の改正に伴い、介護予防・生活支援の充実等が求められている中、住民の主体的な参加と協力によりお互いさまの気持ちで助け合う活動の推進を行う。

(1) 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
かがやき (件数)	5	5	5	5	4	3	6	5	24	3	3	4	72
総合事業 (件数) ※訪問型サービスA	21	19	24	25	22	24	22	24	21	19	21	23	265
新規利用者数 (人)	0	0	1	2	0	0	0	0	6	0	1	2	12

(2) 依頼内容

依頼内容	件数	依頼内容	件数
掃除	16	衣替え・衣類整理	4
洗濯 (畳む、干す)	0	荷物整理	0
草引き	0	布団干し	0
ガラス戸・窓拭き	12	エアコン掃除	0
家具移動	2	ごみ分別・ゴミ捨て	37
見守り	0	その他	1
買い物同行	0	掃除 (総合事業)	265

(3) 登録活動者数 (令和5年3月31日現在) 85名 (男性 20名、女性 65名)

【成果・課題】

- ・訪問型サービスA事業の利用者もかがやきを併用することによって、利用者の希望に応じた、柔軟な活動となっている。
- ・訪問型サービスAの利用者が今後も増えることが考えられるので、定期的な活動も可能な活動者の協力が必要。

(注1) 訪問型サービスA事業とは

緩和した基準によるサービス提供で、掃除、調理、買物などの生活援助を、研修を受けた住民が有償ボランティア活動として行う。

身体的な介助は行わないため、専門職のサービス提供を必要としない。

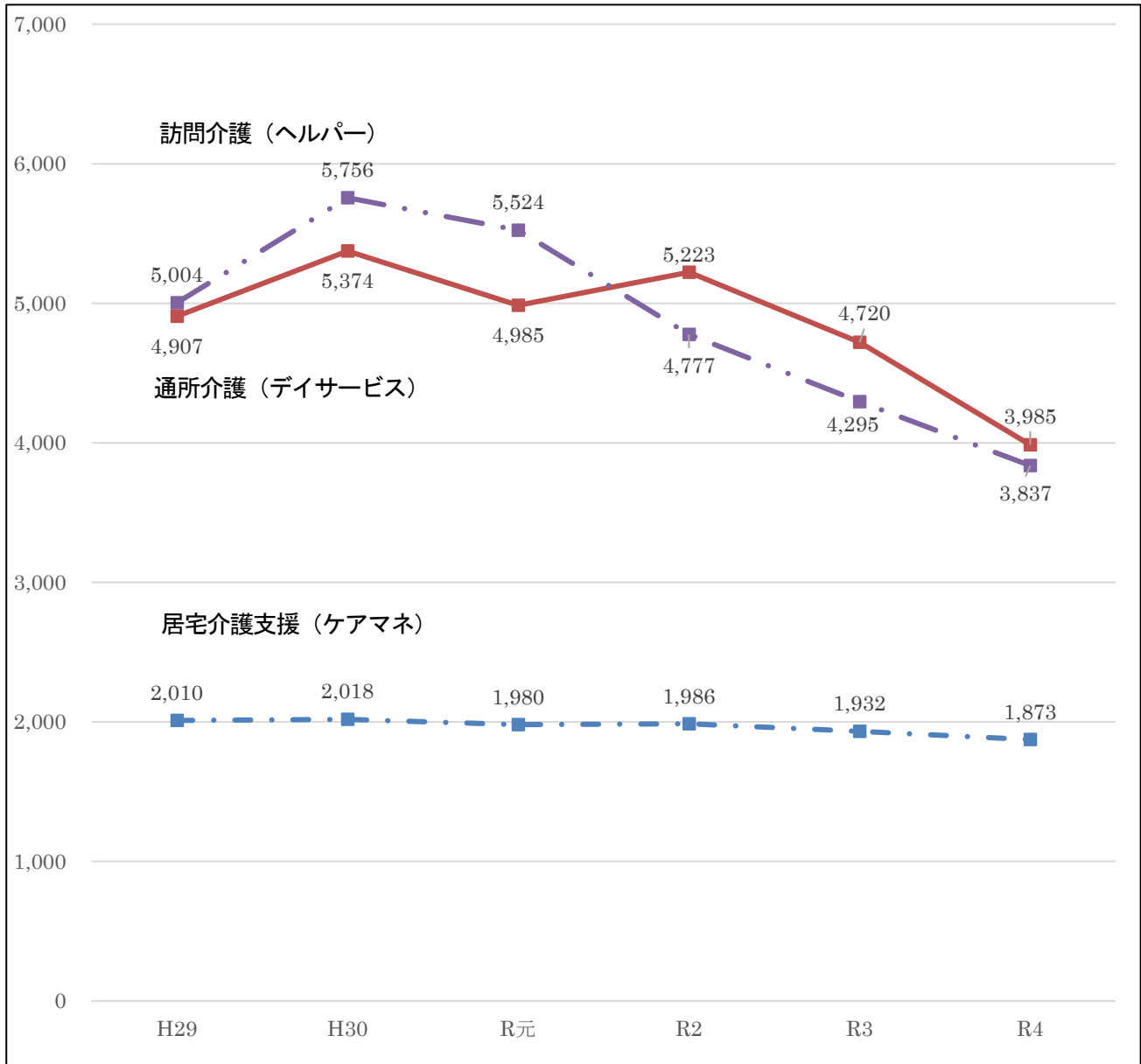


【高齢者福祉事業】

1 介護保険事業

※利用状況推移（要支援1、2、総合事業、要介護1～5の合計）

- ・ケアマネ（延べ利用者数、単位：人）
- ・ヘルパー（延べ提供回数、単位：回）
- ・デイサービス（延べ提供回数、単位：回）



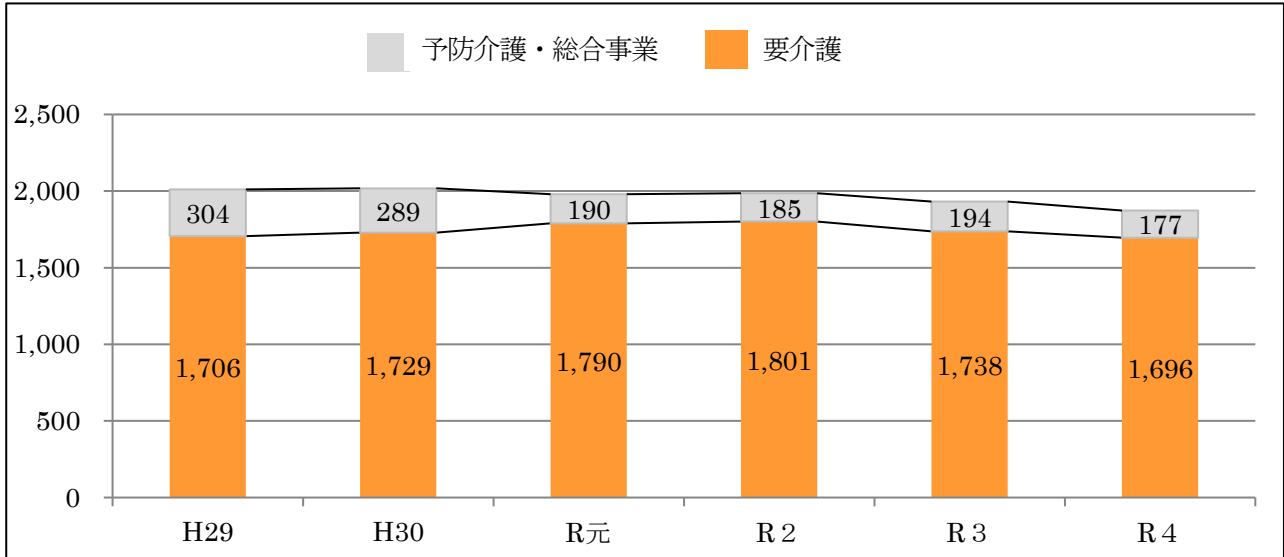
(1) 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

○高齢者生活支援事業・総合事業・・・京丹波町委託事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者で、日常生活上の援助が必要な要支援者

■内 容：ケアマネジメント

※利用状況の推移（延べ利用者数、単位：人）



■予防介護支援事業・総合事業の実績（総合事業・要支援1・2の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	要支援1	要支援2	総合事業	合計
4年度	1	125	40	177
3年度	1	146	47	194
2年度	24	149	12	185
前年度比較（%）	100.0	85.6	85.1	91.2
2年度比較（%）	4.2	83.9	333.3	95.7

■居宅介護支援事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

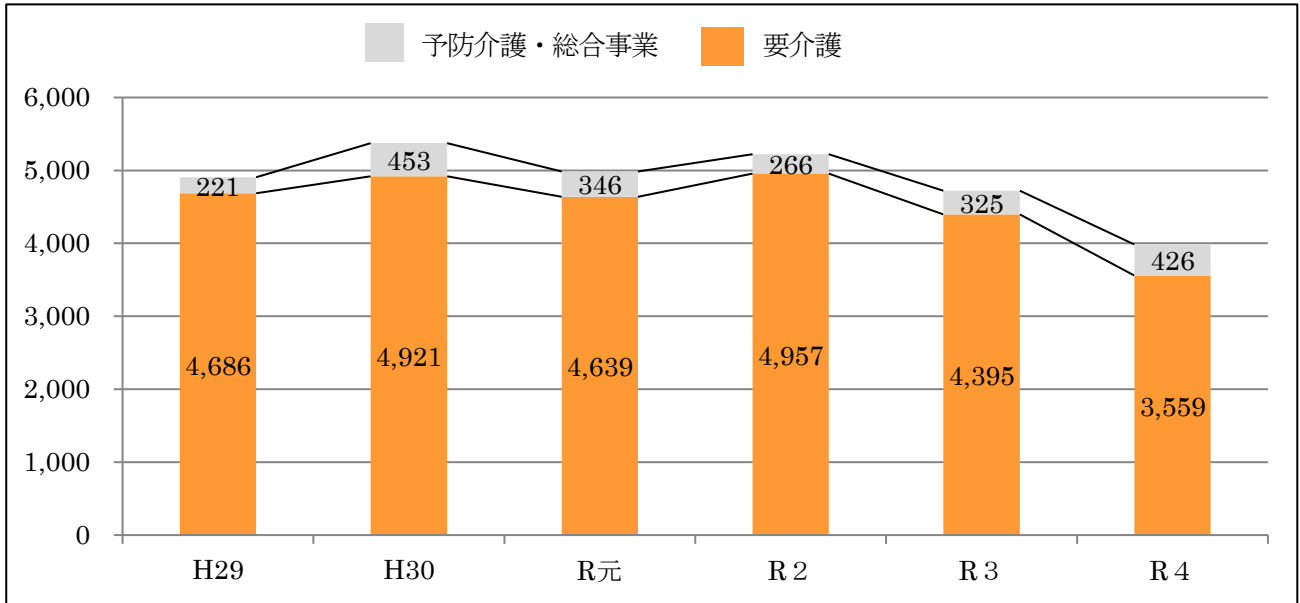
延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4年度	434	733	305	184	40	1,696
3年度	428	726	322	204	58	1,738
2年度	486	743	371	140	61	1,801
前年度比較（%）	101.4	100.9	94.7	90.2	69.0	97.6
2年度比較（%）	89.3	98.7	82.2	131.4	65.6	94.2

【成果・課題】

- ・成果として、京丹波町の高齢者人口が減っていく中で、利用者数の減少幅が微減で納まった。
- ・課題として、依然として社会資源が少ない中では、介護保険中心に支援しがちでせざる負えない環境下にある。インフォーマルな支援を見出し、また構築し繋げていくことの必要性がある。

(2) 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援活動

※利用状況の推移 (述べ提供回数、単位：回)



■ 予防訪問介護事業の実績 (総合事業・要支援1・2の利用状況実績)

延べ利用者数 (人)	要支援1	要支援2	総合事業	合計
4年度	12	38	20	70
3年度	0	35	27	62
2年度	0	21	35	56
前年度比較 (%)	—	108.6	74.1	112.9
2年度比較 (%)	—	181.0	57.1	125.0
延べ提供回数 (回)	要支援1	要支援2	総合事業	合計
4年度	47	229	150	426
3年度	0	154	171	325
2年度	0	134	132	266
前年度比較 (%)	—	148.7	87.7	131.1
2年度比較 (%)	—	170.9	113.6	160.2

■ 訪問介護事業の実績 (介護1～5の利用状況実績)

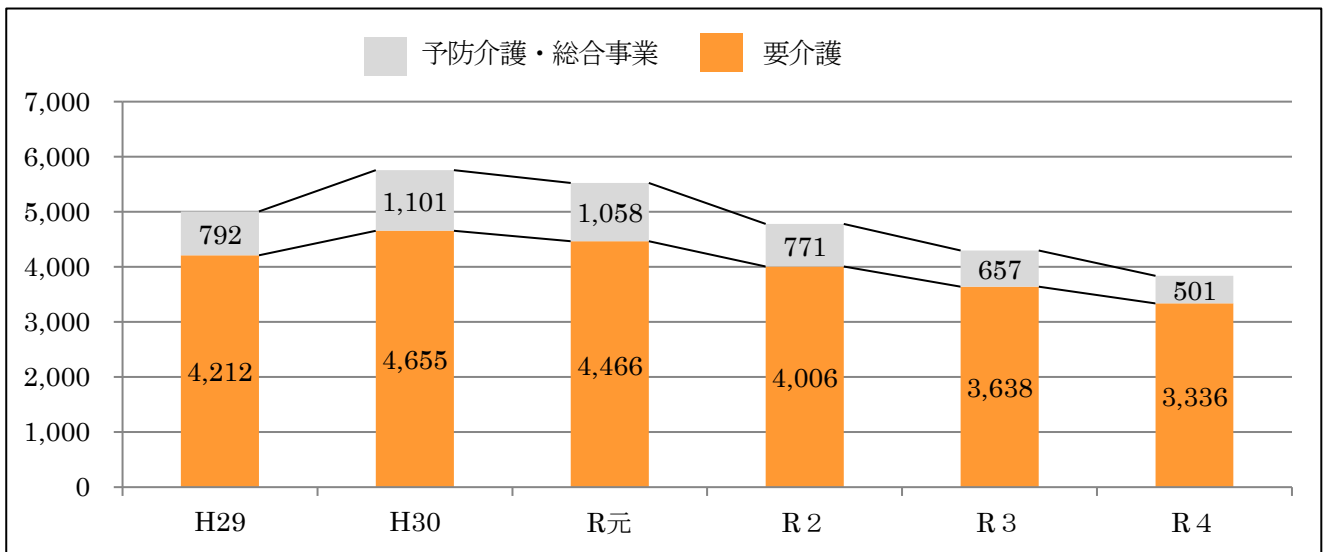
延べ利用者数 (人)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4年度	212	191	90	44	16	553
3年度	216	178	103	44	12	553
2年度	164	204	107	38	15	528
前年度比 (%)	98.1	107.3	87.4	100.0	133.3	100.0
2年度比較 (%)	129.3	93.6	84.1	115.8	106.7	104.7
延べ提供回数 (回)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4年度	1,239	1,366	555	547	152	3,559
3年度	1,318	1,475	838	610	154	4,395
2年度	1,045	1,590	1,624	536	162	4,957
前年度比 (%)	94.0	92.6	66.2	89.7	98.7	81.0
2年度比較 (%)	118.5	85.9	34.2	102.1	93.8	71.8

【成果・課題】

- ・新型コロナウイルスの感染予防のため、手指の洗浄及び消毒・うがい等を徹底した。また、定期的な抗原検査を実施し、安全なサービス提供に努めたためクラスターなどなく運営が行なえた。
- ・発熱等の症状があれば、マニュアルに基づき家族やケアマネジャーと連携を図って利用者の安全と職員の安全を確保しながら支援が行なえた。
- ・介護認定から総合事業利用へ移行されたため総合事業利用者が増加した。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大がサポートハウスであり、一時的にヘルパー訪問が禁止された影響により延べ提供回数が減少した。

(3) 通所介護事業・・・デイサービスセンターで、入浴・余暇活動等を提供

※利用状況の推移（述べ提供回数、単位：回）



■予防通所介護事業の実績（総合事業の利用状況実績）

延べ利用者数（人）		述べ提供回数（回）	
4年度利用状況	84	4年度提供回数	501
3年度利用状況	104	3年度提供回数	657
2年度利用状況	128	2年度提供回数	771
前年度比較（%）	80.8	前年度比較（%）	76.3
2年度比較（%）	65.6	2年度比較（%）	65.0

■通所介護事業の実績（介護1～5の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4年度	143	120	85	44	29	421
3年度	116	147	92	52	43	450
2年度	82	176	117	38	55	468
前年度比較（%）	123.3	81.6	92.4	84.6	67.4	93.6
2年度比較（%）	174.4	68.2	72.6	115.8	52.7	90.0
延べ提供回数（回）	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4年度	1,038	854	684	336	424	3,336
3年度	776	1,012	786	446	618	3,638
2年度	574	1,279	1,073	266	814	4,006
前年度比較（%）	133.8	84.4	87.0	75.3	68.6	91.7
2年度比較（%）	180.8	66.8	63.7	126.3	52.1	83.3

【成果・課題】

- ・コロナ禍にありながら利用者や家族、また関係者の尽力により休止することなく運営することができた。
- ・職員も体調管理に注意しながら業務にあたってくれたが、体調不良時は職員体制を組み替えることでサービスを止めることなく運営することができた。
- ・特に冬場にあつては利用者の体調不良や転倒からの入院、また退院後の施設利用等でキャンセルや長期利用休止の方が増え、提供回数が減少となった。
- ・今後も感染状況に気を配りながら、取り組み方を工夫し地域ボランティアや社会資源ともつながりを持つことで、地域に根差したデイサービスとなるよう職員一丸となって取り組んでいく。

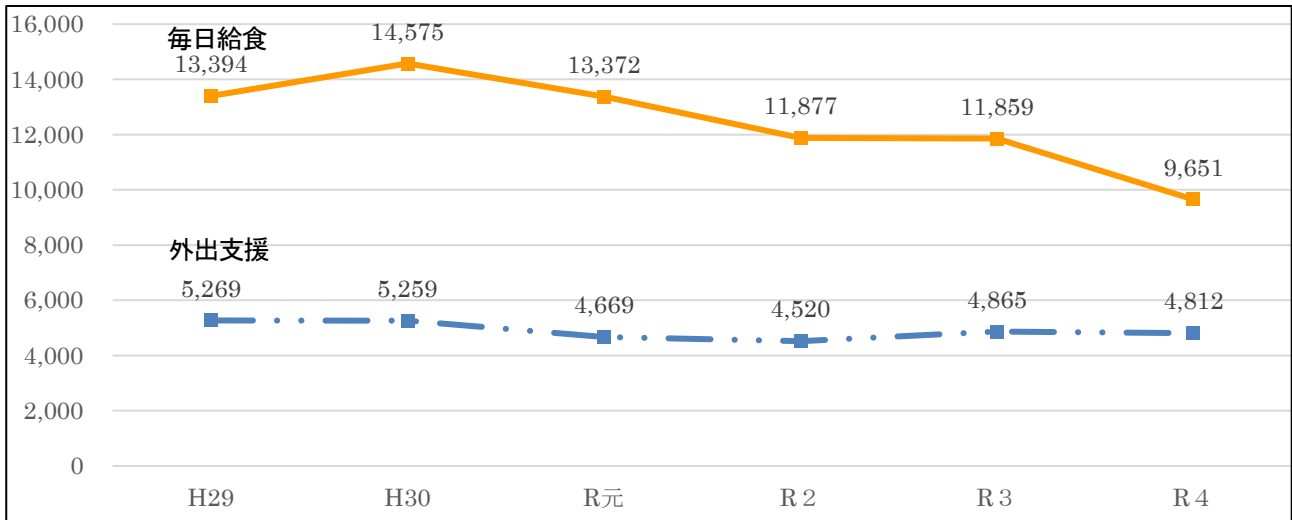


2 高齢者生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移

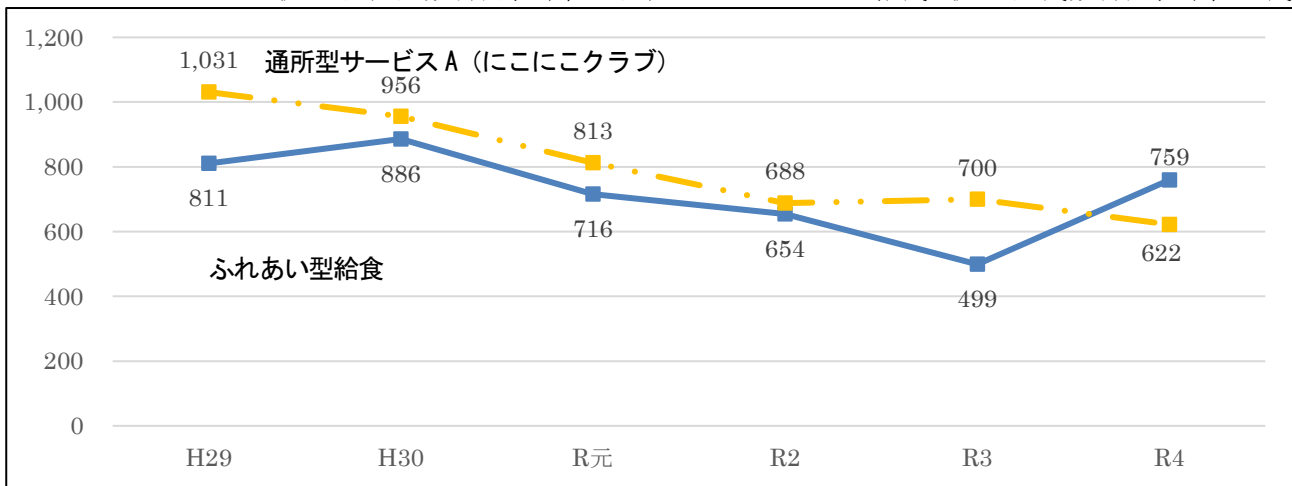
・毎日給食（延べ配食数合計、単位：食）

・外出支援（延べ提供回数合計、単位：回）



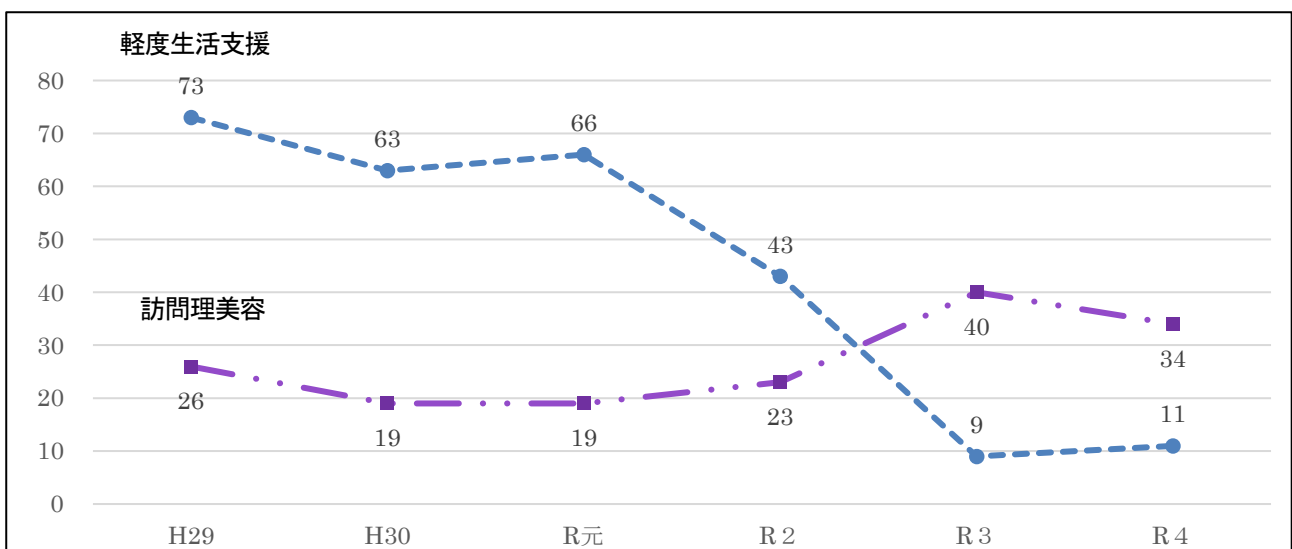
・にこにこクラブ（延べ提供回数合計、単位：回）

・ふれあい型給食（延べ配食数合計、単位：食）



・軽度生活支援（延べ提供回数合計、単位：回）

・訪問理美容（延べ提供回数合計、単位：回）



(1) 軽度生活支援事業

- 対象者：概ね65歳以上の高齢者で、一人ぐらし高齢者・高齢者世帯等、日常生活上の援助が必要な方
- 内容：掃除、洗濯、調理、他軽易な日常生活上の援助
- 提供者：ホームヘルパー

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	0	10	0	10
3年度	0	8	0	8
2年度	8	8	0	16
前年度比較 (%)	—	125	—	125
2年度比較 (%)	—	125	—	62.5
延べ提供回数 (回)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	0	11	0	11
3年度	0	9	0	9
2年度	34	9	0	43
前年度比較 (%)	—	122.2	—	122.2
2年度比較 (%)	—	122.2	—	25.5

【成果・課題】

- ・現在は資源ごみ回収だけの活動となり、2カ月に1回程度の活動となっている。

(2) 外出支援事業

- 対象者：概ね65歳以上の高齢者、または概ね60歳以上の高齢者であって下肢が不自由な方で、一般の交通機関の利用が困難な方
- 内容：自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物等の送迎
- 提供者：運転介助員、ホームヘルパー

	延べ利用者数 (人)	延べ提供回数 (回)
4年度	1,699	4,812
3年度	1,706	4,865
2年度	1,339	4,520
前年度比較 (%)	99.6	98.9
2年度比較 (%)	126.9	106.5

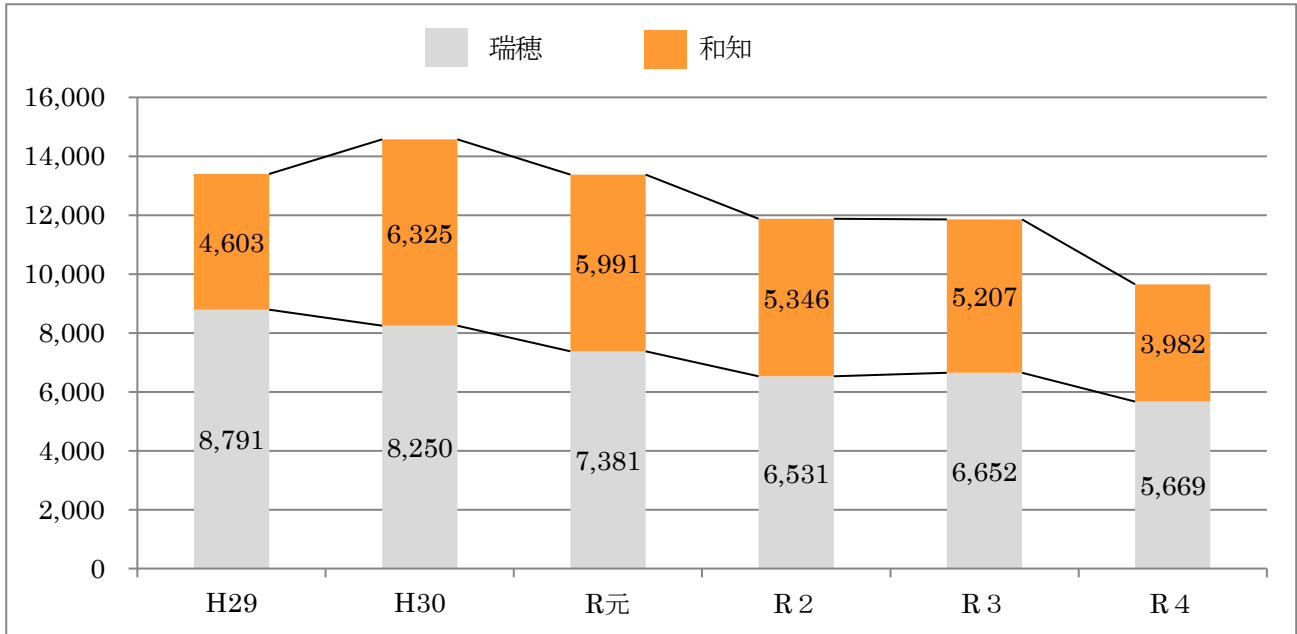
【成果・課題】

- ・コロナ感染予防のための消毒等については継続し、安全に送迎対応できた。
- ・車いす対応の方が増え、自宅の中まで送迎対応しないと通院に行けない人も出てきている。また送迎の時間が重なり、車いすの車両が足りない時は他の支所と連携し、車いすの車両を調整し対応ができた。
- ・退院時の送迎希望もあり、在宅生活の再開に向け支援が行えた。
- ・送迎の時間が重なることも多く、運転手や配車の調整が難しいことが増えてきている。
- ・午前中の診察より、昼からの予約診察で病院受診が増えてきており、他の事業との兼ね合いもあり、運転手や車両の確保に苦慮することがある。

(3) — 1 食の自立支援事業（毎日給食）

- 対象者：調理が困難な一人暮らし高齢者
- 地 区：瑞穂地区、和知地区のみ ※丹波地区は丹波高原荘が実施
- 内 容：栄養バランスのとれた夕食弁当の宅配
- 利用料：1食 500円（ご飯、おかず）、450円（おかずのみ）

※地区ごとの利用者数の推移（単位：提供配食数）



延べ利用者数 (人)	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	3 4 2	2 7 1	6 1 3
3年度	4 1 3	3 1 3	7 2 6
2年度	4 1 1	3 2 7	7 3 8
前年度比較 (%)	8 2 . 8	8 6 . 6	8 4 . 4
2年度比較 (%)	8 3 . 2	8 2 . 9	8 3 . 1
延べ提供食数 (食)	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	5, 6 6 9	3, 9 8 2	9, 6 5 1
3年度	6, 6 5 2	5, 2 0 7	1 1, 8 5 9
2年度	6, 5 3 1	5, 3 4 6	1 1, 8 7 7
前年度比較 (%)	8 5 . 2	7 6 . 5	8 1 . 4
2年度比較 (%)	8 6 . 8	7 4 . 5	8 1 . 3

【成果・課題】

- ・配食にあたっては従来通りマスクの着用・消毒液を持参し、感染予防に努めた。
- ・体調の変化で緊急入院も多く、配食の減少が著しかった。
- ・一人暮らし高齢者宅が多く安否確認は勿論、大雪の日は配食にも支障があったため、生活動線の確保も兼ねて雪かきにも行った。

(3) — 2 食の自立支援事業（ふれあい型給食サービス）

- 対象者：一人暮らし高齢者・高齢者世帯等（和知地区）
- 内 容：調理・配食ボランティアによる月2回実施の「かけはし弁当」
- 利用料：1食 400円

	配食数 (食)	調理ボラ数 (人)	配食ボラ数 (人)
4年度	759	97	248
3年度	499	63	145
2年度	654	85	224
前年度比較 (%)	152.1	154.0	171.0
2年度比較 (%)	116.1	114.1	110.7

【成果・課題】

- ・昨年度（3年度）は新型コロナにより取組みを中止することが多かったが、今年度（4年度）は予定していた活動が実施できたため、配食数、調理・配食ボランティア数が増えている。
- ・班ごとの人数に差異があること、また既存ボランティアに高齢化を理由に長く続けることが難しい等の意見がある。



(4) 訪問理美容事業

- 対象者：理美容院に出向くことが困難な高齢者等
- 内 容：社協に登録された理美容師が訪問し理美容を行う
- 利用料：1回 1,000円

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	11	11	12	34
3年度	12	12	16	40
2年度	6	12	5	23
前年度比較 (%)	91.7	91.7	75.0	85.0
2年度比較 (%)	183.3	91.7	240.0	147.8

【成果・課題】

- ・上半期は新規利用者があったものの、下半期について新規利用者はなかった。理美容を利用されるのは2カ月に1回の間隔の方が多い。

(5) 通所型サービスA事業（にこにこクラブ）

■対象者：総合事業対象者の高齢者。

■内 容：5班体制で、月2回、健康観察と体操を取り入れ、介護予防や健康維持を目的に実施

■会 場：主会場は、和知高齢者コミュニティセンター

月	開催日	参加者数	月	開催日	参加者数
4月	19, 21	31	10月	4, 6, 18, 20	66
5月	17, 19	35	11月	8, 10, 22, 24	63
6月	7, 9, 21, 23	63	12月	6, 8, 20, 22	61
7月	5, 7, 19, 21	61	1月	17, 19	31
8月	23, 25	34	2月	2, 7, 16, 21	55
9月	6, 8, 20, 22	61	3月	2, 7, 14, 16	61
合 計					622
3年度実績					700
前年度比 (%)					88.9

【成果・課題】

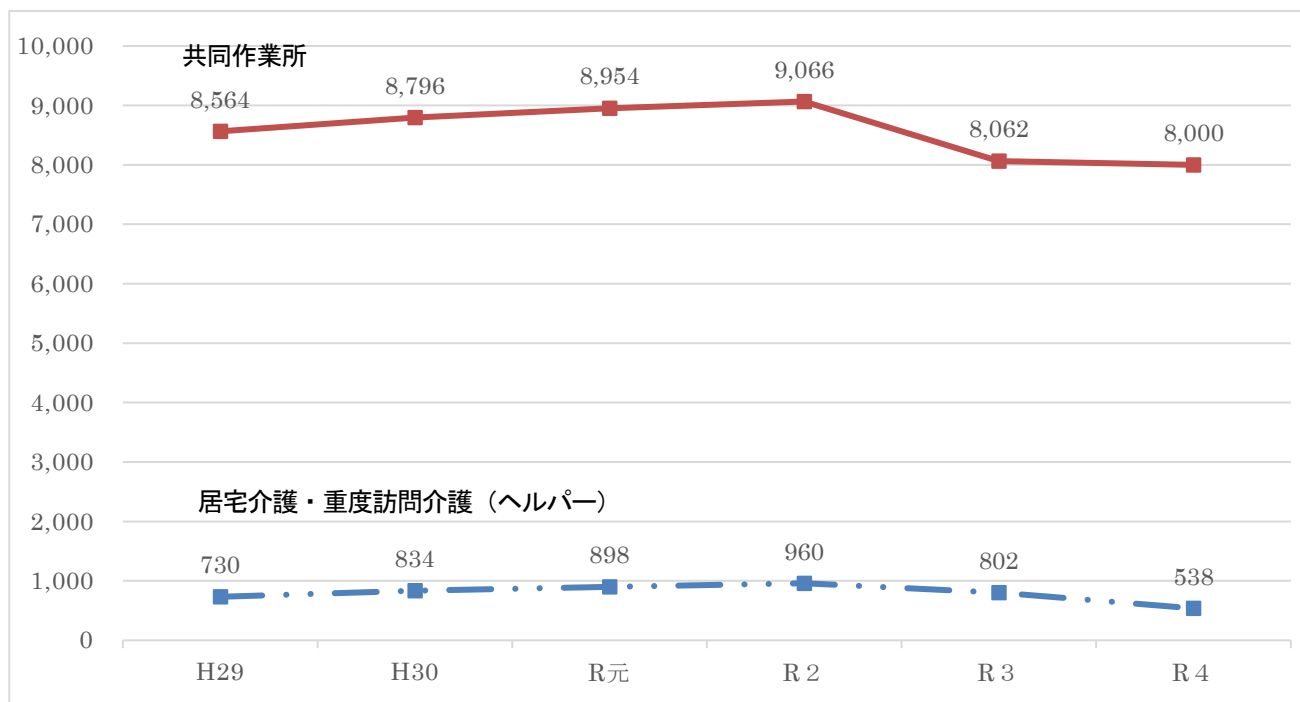
- ・課題としては利用者の高齢化・減少が挙げられる。死亡や介護認定により続けられなくなる利用者が多い。



【障害者福祉事業】

1 障害者総合支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数合計、単位：回）



（1）居宅介護・重度訪問介護事業

■ホームヘルパーによる在宅支援活動

延べ利用者数 (人)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
4年度	7	40	29	17	0	0	93
3年度	12	36	46	3	5	0	102
2年度	10	24	43	0	12	0	89
前年度比較	58.3	111.1	63.0	566.6	—	—	91.1
2年度比較	70.0	166.6	67.4	—	—	—	104.4
延べ提供回数 (回)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
4年度	42	361	47	88	0	0	538
3年度	118	354	140	18	172	0	802
2年度	105	256	155	0	444	0	960
前年度比較	35.5	101.9	33.5	488.8	—	—	67.0
2年度比較	40.0	141.0	30.3	—	—	—	56.0

【成果・課題】

- ・サポートハウスにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大により施設内へのヘルパー訪問が禁止となり提供回数が減少している。
- ・新型コロナウイルス感染症対策予防のため、手指消毒・うがい等の徹底を行い、定期的な抗原検査を実施している。
- ・発熱等の症状があれば、マニュアルに基づいた対応を行い家族や相談員等と連携を図って支援を行っている。

(2) 障害者共同作業所運営事業

障がいのある方の自立を目指し、生活能力向上の支援や就労訓練を行う。

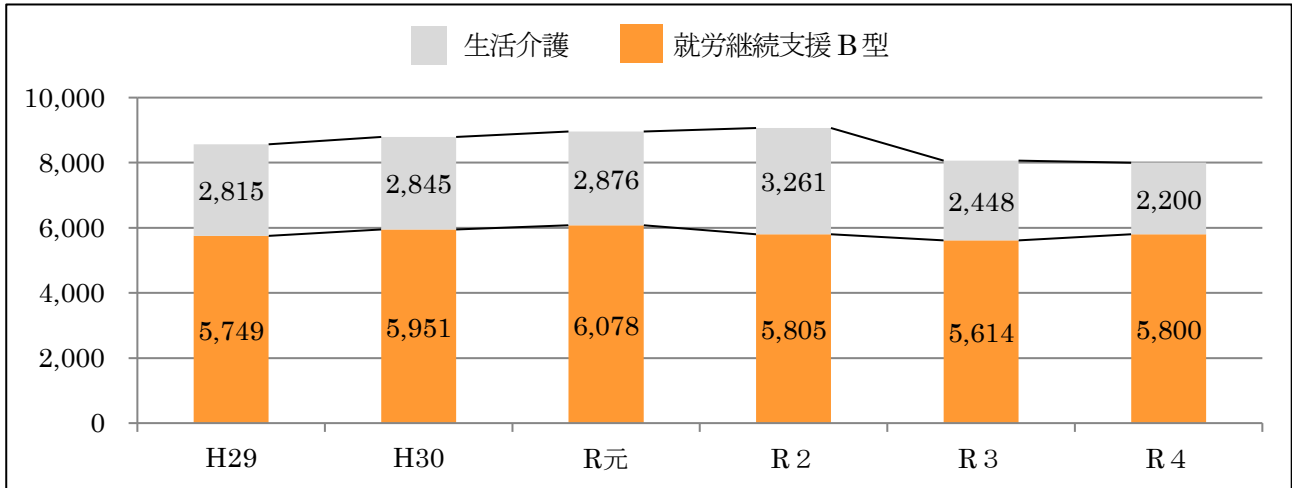
【生活介護】

創作的活動や生産的活動の機会を提供し身体的機能や生活能力向上のための援助を行う。

【就労継続支援B型】

一般就労に向けて必要な知識や能力の向上を目的に、生産活動やその他の活動を通して本人に合った訓練や支援を行う。

※利用実績の推移（単位：提供回数）



①利用実績

延べ利用者数（人）	生活介護	就労継続支援B型	合計
4年度	2,200	5,800	8,000
3年度	2,448	5,614	8,062
2年度	3,261	5,805	9,066
前年度比較（%）	89.8	103.3	99.2
2年度比較（%）	67.4	99.9	88.2

■利用者数（令和5年3月31日現在）

生活介護 … 10名

就労継続支援B型… 40名

合計50名

■入退所者数

入所者… 3名

退所者… 5名 退所理由（他施設利用…4名、高齢に伴う…1名）

②販売会（自主製品の販売を通して啓発や工賃アップにつなげる）

販売会名	開催日	内容
きのことギャザリング	7/9	グリーンランドみずほ かがやき広場
まほろばLIVE	8/21	滋賀県甲賀市 (委託販売：京の匠株式会社)
京都丹波ふるさと特産 うまいもの市	11/3	丹波自然運動公園
上和知中部村まつり	11/6	和知ゆめ広場
福祉まつり（写真パネル展示）	3/3	丹波マーケス店内イベント広場

③研修会

○作業所職員全体研修会・・・1回

職員全体会議	開催日	内容
第1回全体会議	4/1	年間事業計画、行事、職務分担について

○外部研修

研修会名	開催日	場所
令和4年度キャリアアップ研修（初任者）	6/17、7/28、9/2	市民交流プラザ福知山
京都府強度行動障害支援者養成研修	(基礎)7/14 (実践)11/16、17	京都リサーチパーク
サービス管理者等基礎研修	8/25、26	京都市みやこめっせ
就労継続支援B型事業所の懇談会	10/6	くわスポくちたん
サービス管理者等更新研修	10/11	京都市みやこめっせ
京都共同受注窓口ネットワーク会議	10/28	ZOOM
南丹圏域障害児者総合支援ネットワーク～ほっとネット～全体会および障害者虐待防止・身体拘束等の適正化研修	3/23	ZOOM
相談支援従事者初任者研修3日コース	8月実施	オンデマンド講義

④避難訓練（各支所年1～2回実施）

第1回避難訓練（火災を想定） 丹波12/28 瑞穂12/20 和知12/27
 第2回避難訓練（地震を想定） 丹波 3/29 瑞穂 3/31 和知 3/30

⑤実習生受け入れ

丹波支援学校高等部（2年生）・・・6/14、3/13

⑥地域交流（ボランティア）

作業所和知支所 十三の会・・・アルミ缶回収、ねぎ調整、七八会・・・ねぎ調整
 ※個人ボランティア（毎週1～2回）は、コロナ禍のため休止とした

⑦職場実習

就労を目指している方の職場実習

※実習からトライアル雇用につながったケース 0件

⑧健康管理

- ・毎月1回健康観察、健康相談
- ・健康診断受診率はほぼ100%
- ・京都府歯科医師会の歯科検診、口腔内ケア指導希望者のみであるが受診者増加している。

【成果・課題】

- ・コロナ禍により活動に制限があったものの地域の販売会も再開されたことから、作業所を啓発する機会が増え、利用者も販売会に参加することができた。

2 特定障害者指定相談支援事業（相談支援センターにじ）

■目的：障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、保健、医療、福祉、就労、教育等の関係機関と緊密な連携を図りつつ、一人ひとりの意向、適正、特性等に
 応じ、適切かつ効果的な相談支援を行う。

■内容：ア 相談
 イ 関係機関との連絡調整
 ウ サービス利用計画の作成

■実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3
計画相談	2	3	—	3	3	3	2	1	6	5	5	2	35
モニタリング	4	9	—	6	4	3	—	1	—	4	—	1	32

【成果・課題】

・地域資源が少ない中で、町外事業所とのサービス調整が増加傾向にある。関係者間での情報共有（連携）や利用者（ご家族）との良好な関係性の構築のもと、適切な福祉サービス利用調整を提供していくことが、より一層求められている。

3 ひきこもり等居場所づくり支援事業（にじの家）

■目的：ひきこもり状態の方やその家族が気軽に利用できる居場所を開設し、当事者等からの相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、関係機関と連携を図り、地域における自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■内容
 (1) 居場所「にじの家」の開設・運営
 (2) 当事者や家族からのニーズの汲み取り
 (3) 自宅訪問によるアプローチ

■利用状況

※実施回数（参加人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当事者会	5	5	7	5	7	5	6	5	2	—	1	1
家族の会	8	5	3	3	4	3	3	3	—	—	2	2

【方向性・課題】

・十分な感染対策のもとで運営を継続。当事者や家族の声を聴きながら、取組み内容を臨機応変に対応している。今年度は、家族会、当事者会を分けずに、「〇〇の会」と称して実施。月に約3回開所し、内容に応じて利用を選択できるよう案内を行った。引き続き、地域資源との連携やアウトリーチ支援の拡充を目指していく。



4 グループ作品展「コレカラ—展」の取組

■会 期 令和4年11月26日（土）～11月28日（月）

■会 場 京丹波町健康管理センター 運動指導室

■来場者数 146名（11/26 43名、11/27 33名、11/28 70名）

■展示内容

名 称	展示数	出展者
スケルメン（クリアファイル）	16	にじの家（当事者、家族）
トーテムポール（ダンボール）	18	共同作業所瑞穂利用者
マーブルクレヨン画（半紙、画用紙）	22	共同作業所丹波利用者
マーブルクレヨン画（色紙）	19	
マーブルクレヨン画（帆布）	1	
立体（木端、枝）	31	
墨汁画（半紙、画用紙）	11	共同作業所和知利用者
墨汁画（色紙）	14	
墨汁画（帆布）	1	
動植物、人物画（コピー用紙）	40	内牧隆二郎さん
動物、人物画（画用紙）	13	竹元由夏さん
絵日記（連絡ノートコピー）	2	上田冴紀さん
陶芸、手芸品	5	堀 稔さん
人物、モチーフ画（画用紙）	13	浅野雅之さん
モチーフ画（画用紙）	2	井上順子さん
モチーフ画（画用紙）	4	井上千代美さん
合 計	212	

【効果】

生きづらさや困難に直面した場合でも孤立せず、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し支え合うことができる地域共生社会の実現に向けて開催したところ、さまざまな立場の人（障がいのある人やひきこもりがちの人、その家族、子ども、高齢者、美術家等）が来場された。また、みずのき美術館（亀岡市）を始め多様な機関との文化的なつながりを構築することができた。さらに、地域福祉活動計画の重点目標に掲げている参加と出番づくりにつながる取組みとなった。

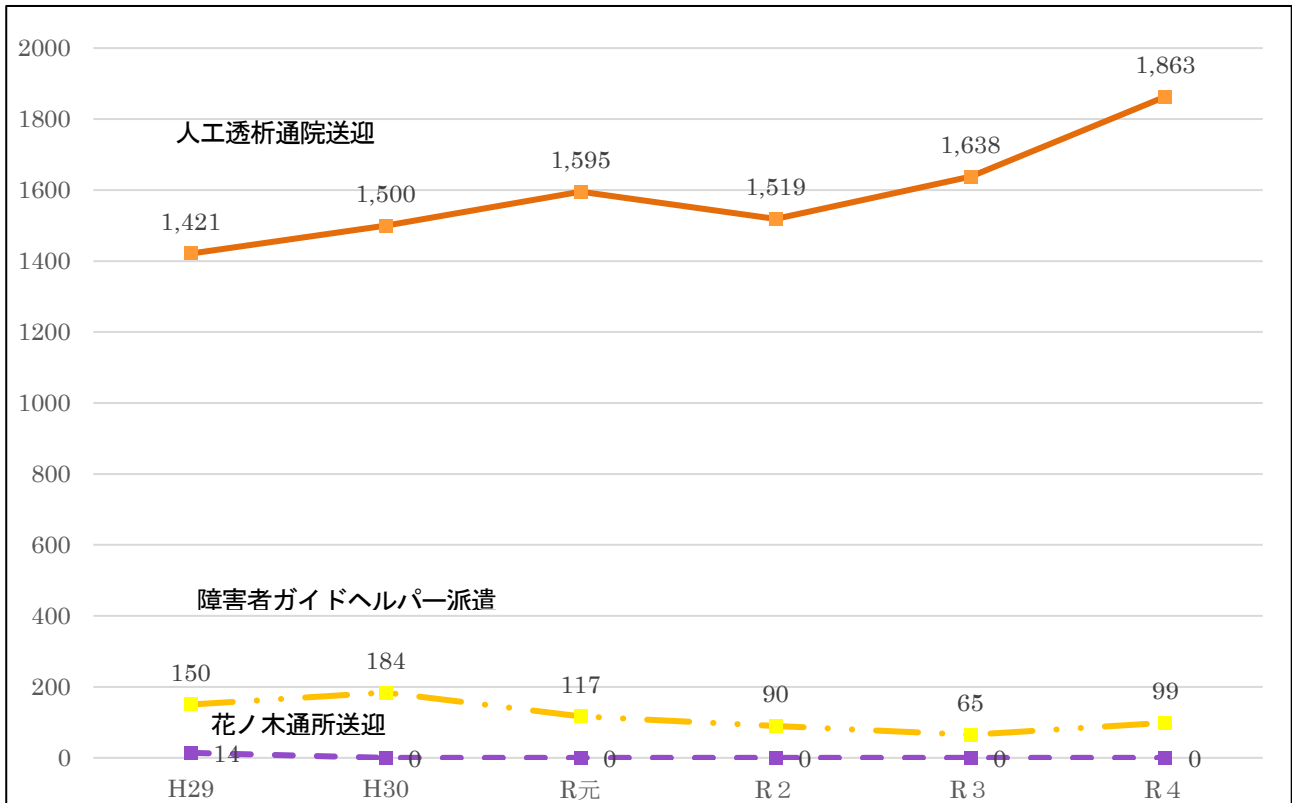
【参加と出番づくりにつながった具体的な実践内容】

- ・にじの家メンバーが画材収集、作品搬入作業を担った。
- ・作業所利用者が自ら作品展のテーマを考案され、チラシのデザインや感想台紙、掲示物や芳名帳を主体的に作成された。また町自主放送番組に出演し町民に広く広報された。
- ・自宅で創作活動をしているが外に出ることが困難な状況にある人や、地域社会との繋がりが希薄化している人が、自身の好きなことや大切にしていること等を、作品をとおして出展されたことで、来場者と間接的に交流する機会となった。※来場者が作品に触れる、好きな作品と写真を撮る、作品（ぬり絵）を持ち帰る、展示作品を参考に実際に作品を作る場を設ける等の工夫を行った。



2 障害者等生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移（延べ提供回数、単位：回）



(1) 重度心身障害児・者通院通所事業

①人工透析通院送迎

■対象者：人工透析患者

■内 容：人工透析のための通院送迎

■提供者：社協外出支援運転手、ホームヘルパー

延べ利用者数 (人)	瑞穂発 (R9)	和知発 (R27)	合 計
4年度	158	70	228
3年度	131	56	187
2年度	139	63	202
前年度比較 (%)	120.6	125.0	121.9
2年度比較 (%)	113.7	111.1	112.9
延べ提供回数 (回)	瑞穂発 (R9)	和知発 (R27)	合 計
4年度	939	924	1,863
3年度	939	699	1,638
2年度	939	580	1,519
前年度比較 (%)	100.0	132.2	113.7
2年度比較 (%)	100.0	159.3	122.6

【成果・課題】

- ・透析後、体調がすぐれず、ふらつきがあるため、病院の車いすを使用し、車まで移動してもらうことで安全な対応が行えた。
- ・高齢化とともに、送迎時に車の乗り降りがしづらい人が増えてきている。
- ・今年は大雪で主要な道路が通れず、ルートを変更し片道2時間かけて病院に送迎する日もあった。天候上、厳しい中でも透析は命に関わることなので、確実に病院まで送り届けるため、運転手2名が乗車して送迎対応を行った。

②花ノ木通所送迎

■対象者：重度心身障害者で療育通所利用者

■内 容：花ノ木地域療育施設通所送迎

■提供者：社協外出支援運転手

※今年度利用無し

(2) 障害者ガイドヘルパー派遣事業

	延べ利用者数 (人)	延べ提供回数 (回)
4年度	54	99
3年度	43	65
2年度	88	90
前年度比較 (%)	125.6	152.3
2年度比較 (%)	61.4	110.0

【成果・課題】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い利用者は減少傾向にあったが、その中でも利用者の社会参加として継続した活動ができた。

【児童福祉事業】

1 ファミリー・サポート・センター事業

①各会員登録状況 (3月末)

会 員 名	R4年度末	新規登録者数	退会者数
依頼会員 (おねがい会員)	65	7	7
提供会員 (あずかり会員)	46	2	5
両方会員	23	1	0

②研修会交流会の開催・・・あずかり会員養成研修会、会員交流会

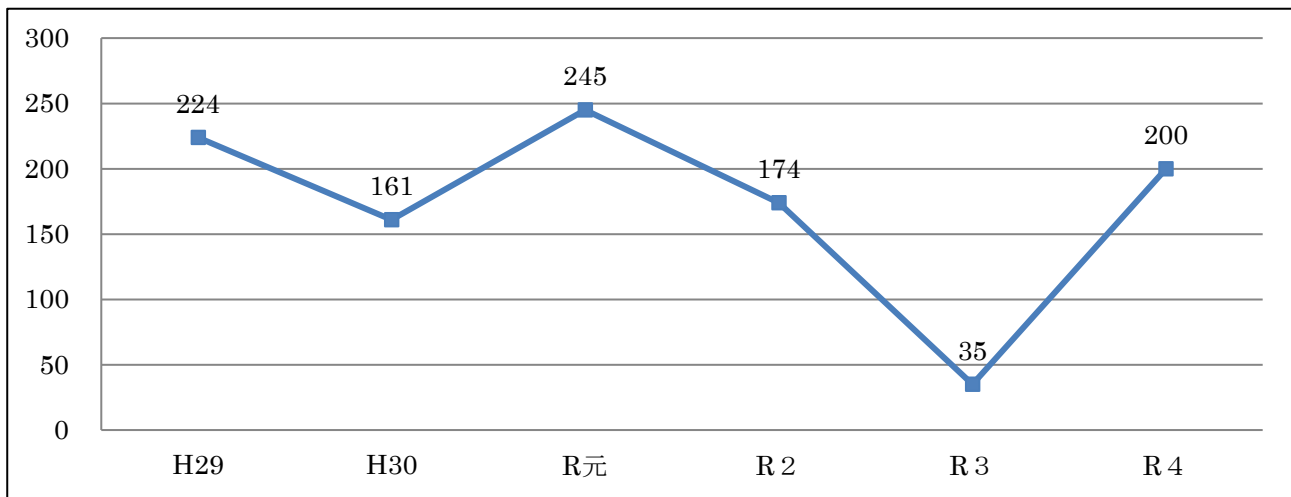
項 目	日時・場所	内 容
会員交流会	5月14日(土) 9:30～ 12:00 健康管理センター	内容：『子育て応援広場』 お下がり品のリサイクル、エコバッグ作り、昔遊び、工作、絵本の読み聞かせ 参加対象：ファミリー・サポート・センター登録会員 参加者：36名(大人18名、子ども19名)
フォローアップ 講習会	7月6日(水) 10:00～ 11:00 健康管理センター	内容：『交通安全教室』 講師／南丹警察署 交通課交通指導係 井崎 道子 氏 馬場 祐司 氏 参加者：8名(提供会員7名、両方会員1名)
あずかり会員養成 講習会	10月25日(火) 10月26日(水) 9:00～ 16:00 健康管理センター	内容： <1日目> 「子どもの安全と病気の世話」 講師／健康推進課 蓮見 純子 氏 「あずかり会員として活動するために」 説明／京丹波町社会福祉協議会 谷山 啓子 「受講生交流」 「会員活動体験談」

		報告／提供会員 久世 正純さん 提供会員 久世 香恵さん 「救急時対策と応急処置」 講師／赤十字幼児安全指導員 前田 ゆかり氏 近藤 松子 氏 <2日目> 「京丹波町の現状と子育て支援について」 講師／子育て支援課 山本 竣也 氏 「子どもの権利と社会的養護」 講師／京都府家庭支援総合センター 大戸 淳志 氏 (里親体験談) 両方会員 早川 公雄さん 両方会員 早川 知子さん 「子どもの発達に応じた関わり方」 講師/健康推進課 石原 詩子 氏 「子どもの社会性と遊びについて」 講師／たんばこども園 湊 玲奈 氏 「子どもの食生活」 講師／健康推進課 上林 小百合 氏 受講者：10名(新規受講3名、再受講7名)
会員交流会	11月5日(土) 9:30～ 12:00 健康管理センター	内容：『子育て応援広場』 お下がり品のリサイクル、手芸、工作、絵本の読み聞かせ 参加対象：ファミリー・サポート・センター登録会員、ファミリー・サポート・センターに関心のある一般住民 参加者：45名(大人22名、子ども23名)
提供会員・両方会員交流会	1月17日(火) 9:30～ 12:00 健康管理センター	内容：『ヨガ&アロマ交流会』 ヨガ教室、アロマを使ったハンドクリーム作り 参加者：8名(大人7名、子ども1名)
会員交流会	3月11日(土) 10:00～ 12:00 健康管理センター	内容：『ステンシルであそぼう』 ステンシルを使ったエコバッグ作り 講師／3じのアトリエ 小澤 亜梨子さん 参加者：12名(大人4名、子ども8名)

③ 活動実績・・・調整状況

事業名	回数	内容
マッチング	18	習い事への送迎、保護者の用事時の預かり、保護者就労時の預かり、保育施設前後の送迎と預かり
活動実績	200	習い事への送迎、保護者の用事時の預かり、保護者就労時の預かり、学童の迎えと学童後の預かり
訪問・面談	30	会員宅訪問、相談対応

※活動実績の推移(延べ提供回数、単位：回)



【成果・課題】

- ・令和4年4月から報酬単価が30分単位になり、送迎の依頼が昨年より増加した。
- ・あずかり会員養成講習会については、新規3名（提供会員2名、両方会員1名）、再受講7名の計10名の受講となった。
- ・フォローアップ講習会として「交通安全教室」を実施した。送迎を伴う援助活動を安全・安心に行うための必要な知識を身につけることができた。
- ・子育て世帯を応援する「子育て応援広場」を5月と11月に開催した。広場では普段活動のない会員が特技を生かし、絵本の読み聞かせ、工作の教え役など子育てボランティアとして参加し、子育て世帯と交流を深める良い機会となった。今後も継続していきたい。
- ・丹波地区での送迎の依頼が多く、利用回数も多かったため、複数の提供会員とマッチングをすることで提供会員の負担にならないよう対応した。しかし、地域によって提供会員の登録数にばらつきがあるため、同じ会員が複数の依頼を掛け持ちすることとなった。



【地域福祉推進事業】

1 啓発活動の展開

(1) 社協広報紙「ほほえみ」の発行

NO	発行月	内 容 等
59	令和4年4月号	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置図 ・赤十字運動 ・共同募金のお知らせ ・『わっか便』 ・京丹波町災害ボランティアセンター ・在宅福祉課よりお知らせ ・作業所 NEWS ・ファミサポ・新型コロナ特例貸付 ・社協会費・寄付お礼
60	令和4年6月号	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画・予算 ・社協事業紹介 ・社協会員入会のお願い ・京丹波町災害ボランティアセンター ・『わっか便』 ・在宅福祉課よりお知らせ ・にじの家 ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・作業所 NEWS ・寄付お礼・税制優遇措置のご案内
61	令和4年9月号	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業・決算報告 ・新役員・新評議員紹介 ・令和4年度共同募金運動・年末買物支援助成事業 ・中畑ビジョン会議2022 ・京丹波町災害ボランティアセンター ・社会福祉体験学習 ・在宅福祉課よりお知らせ ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・作業所 NEWS ・寄付お礼 ・税制優遇措置のご案内
62	令和5年1月号	<ul style="list-style-type: none"> ・新春メッセージ ・会費のお礼 ・各福祉大会受賞者報告 ・赤い羽根共同募金（公募事業・街頭募金・募金箱） ・歳末たすけあい募金（年末大掃除・お買い物バス） ・コレカラー展 ・職員募集・相談支援事業のお知らせ ・作業所 NEWS ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・寄付お礼

【成果・課題】

- ・京丹波町社協の広報誌として、季刊（年に4回）で発行した。社協の取り組む事業の紹介や報告、事業の告知などを行った。

(2) facebook（フェイスブック）での情報発信

京丹波町社協の事業に関する情報や町内の地域福祉活動の取り組み等について、迅速に情報提供することを目的に facebook（フェイスブック）による情報発信を行う。

- ① 投稿実績 51回

(3) 福祉まつりの開催

コロナ禍により、参集型ではなく認知症啓発として、若年性アルツハイマー型認知症と診断された写真家のパネル展を福祉まつりとして開催した。

- 日 時 令和5年3月3日(金)～3月6日(月) 午前9時～午後8時
- 場 所 丹波マーケス店内 イベント広場 (パン屋前)
- 内 容 「記憶とつながる写真家の物語」 下坂厚 写真パネル展
※感想を寄せていただいた人数 62名



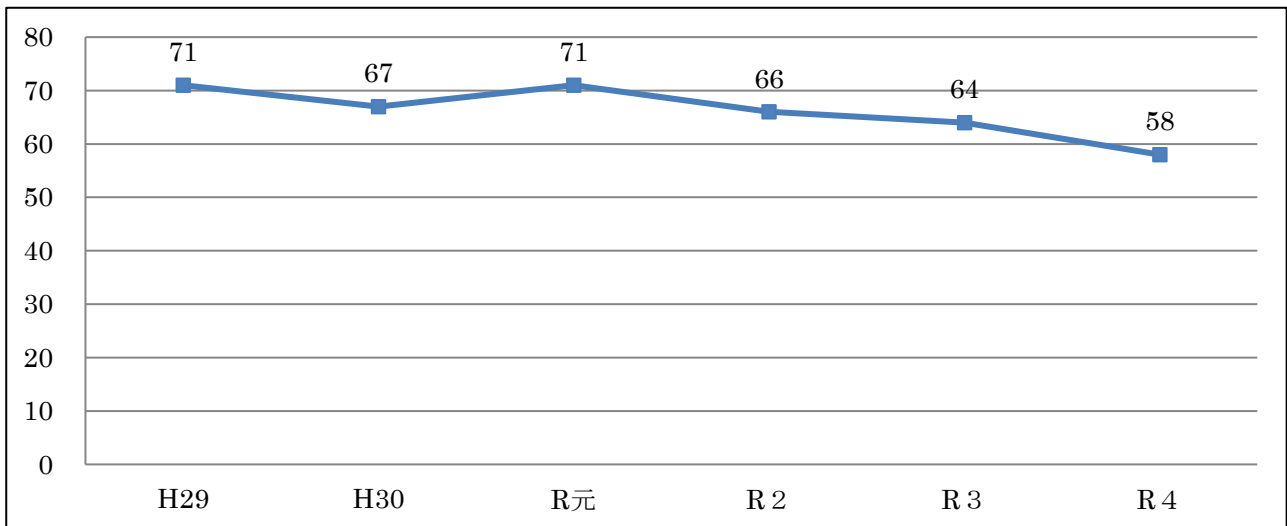
2 地域で安心した生活を送るために・・・“つながり”を大切に活動の展開

(1) ふれあいいいききサロン活動の展開

① ふれあいいいききサロン各地区の設置状況

丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
(令和4年度実績) 23サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む	(令和4年度実績) 27サロン 広域サロン 1を含む	(令和4年度実績) 8サロン 広域サロン 1を含む	(令和4年度実績) 58サロン 障害者サロン 1 広域サロン 3を含む
(令和3年度実績) 29サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む	(令和3年度実績) 27サロン 広域サロン 1を含む	(令和3年度実績) 8サロン 広域サロン 1を含む	(令和3年度実績) 64サロン

※サロン設置数の推移



②研修・交流活動

研修・講座名	開催日・場所・参加人数	内 容
第10回 京都地域福祉活動 実践交流会 お茶の京都から元気発信 ～さあ！コロナ禍から 新しい活動へ～	令和5年1月21日（土） 13:00～16:15 山村開発センターみずほ （zoomにて参加） 10名参加	【講演】 「コロナ禍において、今、 地域活動に求められていること」 講師：酒井 保 （ご近所クリエイター） 【実践報告・パネルディスカッション】 ・山城小助け隊アッピー ・株式会社花駒 ・わかみなチャンネル 【グループワーク・まとめ】 ・各社協内での意見交換会 及び全体共有

【成果・課題】

- ・コロナ禍が3年続き、今年度丹波地区では6サロンが休会された。（1サロンは合併）活動者、参加者ともに高齢で活動が大変になったという声が多い。
- ・コロナ禍でも、訪問による見守り活動を継続され、地域の繋がりを大切にされておられる。
- ・今後コロナによる制約が緩和されていく中で、各サロンが継続して活動できるように支援していく。



(2) 小地域ボランティア高齢者支援事業

① 傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
定例会回数	12回	9回	12回	33回
訪問回数	33回	17回	57回	107回
延べ訪問活動者数	33名	39名	57名	129名
延べ活動者数	93名	67名	128名	288名
訪問対象件数	4名	12名	8名	24名
サークル員数	5名	4名	7名	16名

【成果・課題】

- ・傾聴ボランティア活動の中で住民の困りごとを聞き、専門職につなぐことで課題解決に繋がるケースがある。傾聴ボランティアが対象者との関りを大切に、寄り添っているからこそ効果的に解決に結びついていると実感している。
- ・ボランティア数が減少している。次年度も傾聴講座を行い住民に周知していくことで、ボランティア数の増加を促し、対象者に寄り添った傾聴活動ができるようにしていく。

(3) 京丹波町見守りネットワーク事業（絆ネット支援事業）・・・京丹波町委託事業

地域住民や事業者の方々が、日常生活や業務の中で異変や困りごとに気づいた時に、社協へ連絡していただくことで関係者が状況確認を行い、より多くの目で地域をさりげなく見守る活動を行う。

■京丹波町見守りネットワーク事業協力事業所登録数

登録事業所	68事業所／3月末現在
通報件数	5件

【成果・課題】

- ・今年度は新しく4事業所に登録していただいた。
- ・通報は、地元商店、生協、金融機関などから5件あり安否確認がとれた。
- ・地域のふれあいサロンにおいて、協力事業所である薬局の薬剤師から「お薬についての話」として薬の保管方法や飲み方の注意点などを話していただき、地域活動にも協力いただくことができた。
- ・今後も協力事業所を少しずつでも増やしていき、見守り活動や地域活動にも協力してもらえる機会もつくっていきたい。

3 住民参加の地域福祉推進事業

(1) 社会福祉体験

開催日	体験先	中学生	高校生
8月1・2・3日	みずほこども園	1名	0名
中学生参加者合計		1名	
高校生参加者合計		0名	
参加者合計		1名	

【成果・課題】

- ・参加者には、体験前1週間の体調チェックを行い、体験日も検温をしてからの参加を依頼したことで実施できた。
- ・みずほこども園での体験学習は実施出来たが、特別養護老人ホーム長老苑・特別養護老人ホーム丹波高原荘での体験は、申込者もあり事前学習までは行っていたが、その後の新型コロナウイルス感染症拡大により体験学習は中止となってしまった。
- ・高校生に関しても、本人の進路を考えた中での申込となっており、事前学習では主体的に取り組む姿がみられた。受け入れ事業所も夏休みだけでなく冬休みでの実施も検討いただいたが、実施できなくて残念だった。



(2) デイサービスキッズボランティア体験学習の実施

中高生の福祉体験学習を実施する中で、子どもたちの福祉離れを感じることもあり、小学生から福祉に触れ合うきっかけ作りの場として実施。

※令和4年度コロナ禍のため開催中止

4 フードバンク「わか便」

新型コロナウイルス感染症等の影響で、生活費の減少から支援を必要とされる方等を対象に、食料品等を提供し支援を行う。

(1) 食料品の提供

京丹波町の「わか便」 便利用状況

(単位：世帯)

	高齢者世帯	障害者世帯	子どものいる世帯	その他 (生活困窮等)	計
R4.4月	11	3	1	2	17
R4.7月	13	5	1	6	25
R4.11月	14	5	1	2	22
R5.1月	13	7	1	4	25

(2) 食料品等の募集

地域住民や町内事業所からの食料品等の寄付や回収の協力をいただき、地域全体で助け合う仕組みとする。

食料品寄付の状況

	石井食品	創味食品	住民からのご寄付		
			お米	インスタント・ レトルト・缶詰等	調味料お菓子等
R4.4月	100点	190点	188kg	271点	244点
R4.7月	100点	668点	363kg	157点	69点
R4.11月		777点	529kg	109点	50点
R5.1月		723点	720kg	98点	47点
合計	200点	2,358点	1,800kg	635点	410点

※その他、生活用品等いただいている。

【成果・課題】

- ・令和4年度から本格的に実施し、一年を通して町内の多くの方に周知でき地元企業をはじめ、ファミリーマート京丹波蒲生店の協力もあり、多くの食料品の提供をいただくなど支援の輪が広がった。
- ・基礎年金のみの高齢者世帯からの申し込みが多く、厳しい生活状況が伺えた。次年度も、引き続き実施し、困窮世帯や課題を抱えておられる方に寄り添い、セーフティーネットの役割を果たしていく。

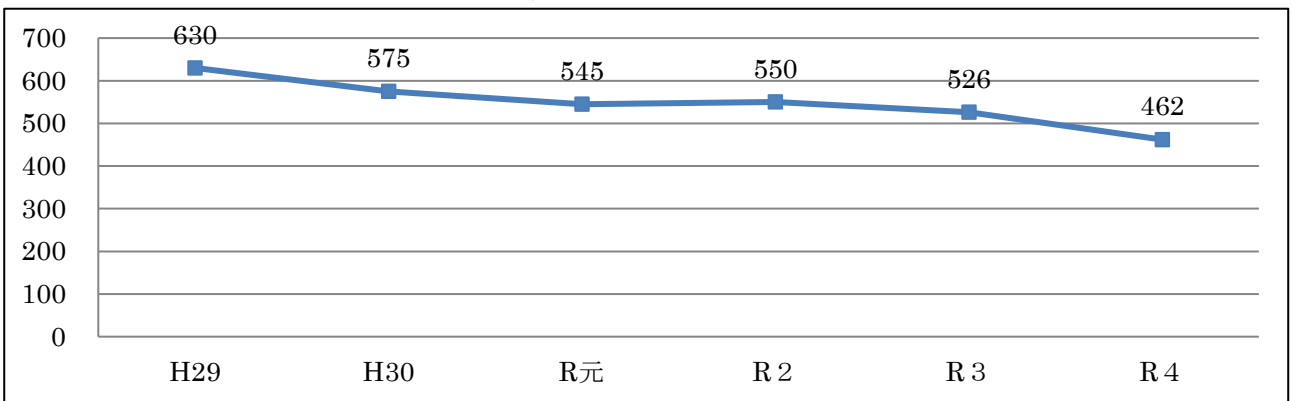


【ボランティア振興事業】

1 ボランティアバンク登録状況

	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
丹波	男	0	2	2	3	8	10	25
	女	0	0	5	9	39	113	166
	計	0	2	7	12	47	123	191
	3年	27	10	16	12	52	138	255
瑞穂	男	0	0	0	1	0	15	16
	女	0	0	1	5	19	92	117
	計	0	0	1	6	19	107	133
	3年	0	0	1	6	22	112	141
和知	男	0	0	0	2	1	10	13
	女	0	0	1	7	27	90	125
	計	0	0	1	9	28	100	138
	3年	0	0	1	8	29	92	130
合計		0	2	9	27	94	330	462
3年度		27	10	18	26	103	342	526
比較 (%)		—	20.0	50.0	103.8	91.3	96.5	87.8

※ボランティアバンク登録者数の推移 (単位:人)



2 ボランティア活動状況報告

(1) ボランティアグループ活動報告

①丹波地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記ボランティア「イヤフレンズ」	33回	92名
2	朗読ボランティア「ともしび」	24回	88名
3	モンキーズ&ハッピーサークル	4回	37名
4	演芸ボランティア「民謡みやび会」	25回	155名
5	演芸ボランティア「瑞舟会」	13回	39名
6	演芸ボランティア「苑の会」	1回	8名
7	演芸ボランティア「すみれ会」	0回	0名
8	お誕生カードボランティア「すずらん」	0回	0名
9	絵手紙ボランティア	10回	42名
10	くらしの応援ボランティア「ひらめき会」	2回	4名
11	子育てボランティア「さくらんぼ」	3回	26名
12	保育ボランティア	20回	30名

13	美容ボランティア「愛（めぐみ）の会」	0回	0名
14	竹野ほほえみの会	0回	0名
15	豊田あじさいの会	14回	462名
16	グリーンハイツすみれ会	42回	812名
17	富田萩の会	7回	87名
18	傾聴ボランティア「うさぎの耳」	44回	92名
19	アロハフラピカケ	26回	470名
20	遊び広場もこもこ	10回	242名
21	和太鼓「えん」	20回	219名
22	和太鼓「結輪」	18回	72名
23	手話サークル「いちょう」	4回	13名
24	京丹場 SUN3 協会	19回	118名
丹波支所活動計（イ）		339回	3,108回

②瑞穂地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	収集ボランティア「めぐみ」	7回	35名
2	要約筆記ボランティア「ささやき」	13回	20名
3	朗読ボランティア「あかり」	11回	33名
4	暮らしの応援ボラ手作り介護用品「コスモス」	9回	37名
5	暮らしの応援ボラ「ダイナミックス」	12回	48名
6	押し花ボランティア「花かご」	10回	51名
7	配食ボランティア	257回	470名
8	傾聴ボランティア「なかよし会」	39回	67名
9	京丹波スリーA	28回	115名
10	くるみの会	0回	0名
11	コーラスカナリア	22回	170名
12	手話サークル「ありんこ」	18回	83名
瑞穂支所活動計（ロ）		426回	1,129名

③和知地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記サークル「くさぶえ」	9回	39名
2	朗読ボランティア「こだま会」	12回	58名
3	ガイドヘルパー「みちづれ」	65回	66名
4	十三の会	54回	71名
5	七八会	7回	10名
6	大迫グループ	0回	0名
7	虹の会	12回	71名
8	お誕生カードづくりボランティア「天花」	6回	24名
9	手芸ボランティア「モチーフ」	10回	55名
10	ふれあい給食サービス「調理ボランティア」	19回	97名
11	ふれあい給食サービス「配食ボランティア」	19回	248名
12	彩いろグループ	13回	143名
13	才原グループ「ふきのとう」	4回	8名
和知支所活動計（ハ）		230回	882名
総 合 計（イ+ロ+ハ）		995回	5,119名

(2) 個人ボランティア活動報告

活 動 内 容	活動回数	活動者数
京都障害者ふれあい広場 (スポーツレクリエーションフェスティバル)	1回	3名
京丹波町身体障害者福祉会体育大会のボランティア支援	1回	2名
ふれあい給食「かけはし弁当」 帯び絵原画書き	5回	5名
ふれあい給食「かけはし弁当」 帯び絵名前書き	20回	20名
保育ボランティア	9回	10名
合 計	34回	35名

- ・コロナ禍であったが、それぞれの団体に感染予防対策をして活動できるよう工夫されていた。
- ・活動場所が制限され、発表の場が少なかつたりしたが、ボランティア活動が活動者同士のつながりや居場所となり、自身の生きがいにもなっている。またそのことが活動者自身の介護予防にもつながっている。
- ・コロナ禍で活動発表の場が少なくなってしまう中で、社協デイサービスセンターほほえみと、クローバーデイサービスセンターの交流会にて、ボランティア発表を実施できたことは大きな成果であった。次年度以降も活動の場を提案し、ボランティア活動発表をとおして共に支え合う福祉のまちづくりを進めていく。



3 ボランティア研修・養成講座・交流会の開催

研修・講座名	開催日・場所・参加人数	内 容
令和4年度 傾聴講座 京都PANA—ALC代表 木戸 吉之 氏	令和4年5月19日(木) 13:30~15:30 京丹波町役場本庁 1階 防災会議室 14名参加	～聴くことは立派な対人援助～ ●目的 ・聴くことの意味を学ぶ ・聴くことの大切さを学ぶ ・聴くことの心構えと技術を学ぶ ●傾聴者自身が受ける益 ●聴くときの姿勢と心構え ●2人1組になり、事例を用いてのワーク

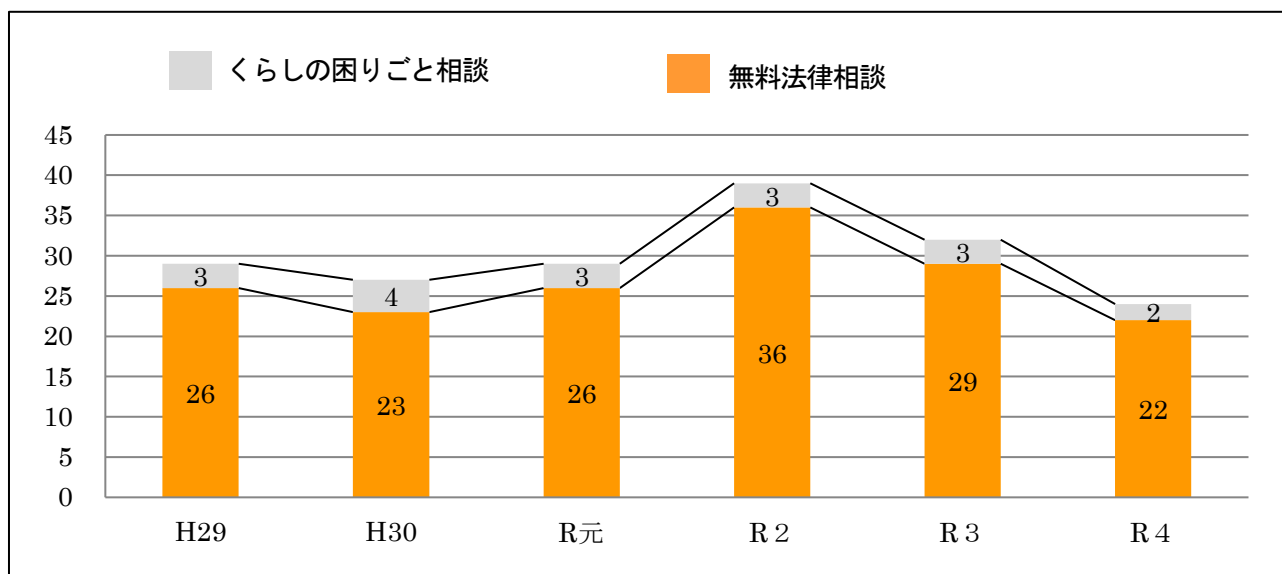


【厚生福祉事業】

1 心配ごと相談事業

※来談者の推移（「心配ごと相談」は「くらしの困りごと相談」に名称変更。）

（単位：人）



くらしの困りごと相談	開催日	来談者	無料法律相談	開催日	来談者
和知	4月13日	1	瑞穂	4月4日	4
丹波	5月9日	0	丹波	5月9日	2
瑞穂	6月8日	0	和知	7月4日	1
和知	7月13日	0	瑞穂	8月1日	1
丹波	8月17日	0	丹波	10月3日	2
瑞穂	9月7日	0	和知	11月7日	1
丹波	10月3日	0	瑞穂	12月5日	4
和知	11月9日	0	丹波	2月6日	4
瑞穂	12月14日	0	和知	3月6日	3
和知	1月11日	0			
丹波	2月6日	0			
瑞穂	3月8日	1			
合計		2件	合計		22件
令和3年度実績合計		3件	令和3年度実績合計		29件

【成果・課題】

- ・くらしの困りごと相談の内容は、任意後見制度に関する相談、例年になく大雪の影響を受けたことによる近隣トラブルの相談があり、関係機関・無料法律相談につながることができた。
- ・相談内容によっては行政職員と共に対応し、相談後も継続的に相談者に関わっていく体制を構築している。
- ・無料法律相談では相続や離婚の相談が多く寄せられた。

2 福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者・高齢者が属する世帯を対象に、その世帯の状況・必要性に応じて無利子または低利で資金を貸し付ける事業。

(1) 新規貸付状況

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	町外転出	転入	合計
生活福祉資金貸付	2	2	0	0	0	4
くらしの資金貸付	0	1	0	0	0	1
特例貸付【緊急小口】	3	3	3	1	0	8
特例貸付【総合】	3	3	2	1	1	8

※特例貸付の件数は受付数

【成果・課題】

- ・下半期に生活福祉資金で教育支援資金2件、緊急小口資金2件、くらしの資金1件の貸付を行った。また、上半期には、元本・貸付利子を償還完了された方から延滞利子の免除申請があり、審査会に諮り免除されたケースが1件あった。
- ・新型コロナ特例貸付については、令和4年9月末をもって新規貸付が終了となり、以降は償還猶予・免除の相談があれば対応を行っている。

3 総合相談事業

(1) 相談受付内容

金銭関係	介護等相談	書類等手続き	その他	合計
41	6	0	8	55

(2) 相談対応結果

他機関紹介	多職種連携対応	社協事業対応	その他	合計
7	19	20	9	55
南丹保健所就労相談、弁護士、町住民課、園部法律相談センター	役場福祉支援課、町内自動車店、包括支援センター、自治会役員、弁護士、南丹保健所、道の駅、相談支援相談員、クローバーサービス	生活福祉資金、地権事業、相談支援専門員、無料法律相談、成年後見相談、くらしの困りごと相談	役場と調整、制度説明、様子を見る、傾聴、総合相談	

【成果・課題】

- ・相談支援係として、地域のさまざまな相談対応を行っている。相談の詳細は記載できないが、金銭関係の相談がもっとも多く入った。中でも多重債務や借金などの関係する相談が多かった。また、今年度は、初回から何度も継続して対応するケースがあった。
- ・生活福祉資金のコロナ特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）の借受人を対象とした相談会（府）が開催され、償還猶予・免除の相談対応を行った。

【福祉関係組織活動支援】

1 日赤社員増強運動

(単位：円)

項目	丹波	瑞穂	和知	合計
協力活動資金額	620,701	477,219	419,350	1,517,270

2 共同募金実績

(1) 赤い羽根共同募金運動 ⇒ 10月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項目	内容	合計	
募金額	令和4年度募金額	2,873,539円	
配分総額	令和3年度募金の配分金	2,338,781円	
前年度配分金	令和2年度募金の配分金(未交付分)	1,499,685円	
配分内訳	①啓発活動	広報ほほえみ発行	726,683円
	②高齢者福祉事業	町老連助成	90,000円
	③障害児・者福祉活動	町身体障害者福祉会助成等	30,000円
	④母子・父子福祉活動	町母子寡婦福祉会助成	130,000円
	⑤児童青少年福祉活動	町内小中学校福祉活動助成	180,000円
	⑥地域福祉活動	公募助成・かがやき活動・ボランティア活動支援	970,000円
	⑦防災・災害対策事業	災害時用備品の購入	148,428円
	⑧未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	1,563,355円

(2) 歳末たすけあい募金 ⇒ 12月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項目	内容	合計	
令和4年度募金額	戸別募金、法人募金、個人募金	1,464,644円	
配分総額	令和4年度募金の配分金	1,347,644円	
前年度配分金	令和3年度募金の配分金(未交付分)	184,522円	
配分内訳	①在宅援助活動	見舞・激励金の配布	738,000円
	②在宅サービス事業	年末お掃除応援隊、買物支援、介護用防水シート配布	587,960円
	③共同作業所支援	共同作業所交流会支援	100,000円
	④未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	106,206円

(3) 京丹波町共同募金運営委員会・・・1回

R4.6.3	令和3年度事業報告及び決算報告について 令和4年度募金配分事業計画について 令和4年度募金推進計画及び予算について 令和3年度未交付配分金事業計画について
--------	--

(4) 京丹波町共同募金委員会審査委員会・・・4回

R4.4.22	令和3年度事業報告について 令和4年度事業計画について 令和4年度じぶんの町を良くする活動助成について
R4.7.14	じぶんの町を良くする活動助成審査
R4.8.31	令和4年度歳末たすけあい募金配分事業について 歳末たすけあい激励金事業の実施について
R4.11.28	令和4年度歳末たすけあい募金について 歳末たすけあい激励金配分について その他歳末配分事業について

【成果・課題】

- ・戸別募金は減少傾向がみられるものの、街頭募金やインターネットによる募金が昨年より増となり、今後も多様な募金方法を検討していきたい。配分事業では、コロナ対策が緩和され、少しずつ集まる機会や取組みが増え、計画していた事業ができるようになった。次年度も地域福祉活動の大切な財源として有効に活用できるよう取組みたい。

3 京丹波町老人クラブ連合会

京丹波町老人クラブ連合会と丹波・瑞穂・和知それぞれの支部活動を支援するため、事務局機能を担っている。

【災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告】

1 支援活動

(1) 支援活動

【京丹波町災害ボランティアセンターの設置・運営】

令和4年7月に豪雨による被害があったが、京丹波町と協議の上、災害ボランティアセンターを設置することは無かった。

【他市町村社協災害ボランティアセンター支援】

①南丹ブロック社協との連携・共同

新型コロナウイルスの流行により、感染予防のため検討会議や訓練を実施することができなかった。

②京都府市町村社協連合会の派遣

令和4年度は、派遣要請が無く、派遣は行わなかった。

③関係団体との協働

職員研修（災ボラ運営訓練）に園部ライオンズクラブ、南丹船井青年会議所（式典があり欠席）に連絡を行い、研修に参加いただいた。

そのようなつながりから、園部ライオンズクラブより、圧縮空気の力で持ち上げる動作を軽減できるマッスルスーツを寄贈いただいた。普段の介護現場では利用者の安全な移動支援や災害時には資機材運搬に活用させていただく。



▲園部ライオンズクラブ長束会長様（写真右）よりマッスルスーツを寄贈いただく（5/11：アスエルそのべにて）



▲贈呈式でマッスルスーツを体験する社協由良会長

2 研修・講座

研 修 名	開催日	内 容
実勢サロン防災講座	6/8	地域のサロンで防災講座（出前講座）を実施。
京丹波町社協職員研修（災ボラ運営訓練） 職員21名、京丹波町危機管理室1名 南丹ブロック社協（亀岡3名・南丹2名）、 府災ボラ2名、園部ライオンズクラブ1名	6/19	感染症対策を講じた災害ボランティアセンター運営訓練。今回は応援の南丹ブロック社協を班長とする試みを実施。
水呑サロン防災講座	6/23	地域のサロンで防災講座（出前講座）を実施。
妙楽寺サロン防災講座	7/16	防災講座（出前講座）。地域の要配慮者をマッピングし、自分達ができることを話し合った。
橋爪サロン防災講座	7/29	地域のサロンで防災講座（出前講座）を実施。
京都府災害ボランティアセンター全体研修	10/15	オフィス園崎の園崎秀治氏の基調講演後、園崎氏と府災ボラ高桑副代表のトークセッション
京丹波町災ボラセンター町民講座（中止）	1/29	関西大学社会安全学部近藤教授、木下弱氏を講師として準備を進めたが大雪により中止。
坂井サロン防災講座	2/6	地域のサロンで防災講座（出前講座）を実施。
関西大学社会安全学部活動報告会	2/20	近藤ゼミ小山ゼミ学生によるR4年度の研究・取組みの成果について報告を受けた。

【成果・課題】

- ・常勤職員を対象とした京丹波町社協職員研修（災ボラ運営訓練）を実施した。（密を避けるため各課から約半数の出席）開催には南丹ブロック（亀岡市・南丹市）社協、園部ライオンズクラブ、船井青年会議所（会行事のため欠席）、府災ボラ、京丹波町総務課危機管理室にも参加いただき、協定を活かした訓練を実施することができた。
- ・1月に関西大学社会安全学部近藤教授と木下弱氏を講師とした災害ボランティアセンター町民講座を計画したが、直前の大雪の影響で開催を中止した。この講座は、同じ内容で令和5年度に実施する予定。
- ・町内のサロンからの依頼をうけ、サロン参加者に向けた防災講座を実施した。例年では年間2、3サロンで実施しているが、令和4年度は5件と、多くのサロンに出向くことができ、たくさんの方に防災について考えてもらう機会ができた。令和5年度についても、4月発行の広報誌で出前講座の募集記事を掲載し、依頼に応じて実施していく予定である。



▲災害ボランティアセンター運営訓練（6/19）。当日は本会職員の他、京都府災害ボランティアセンター、亀岡市社協、南丹市社協、園部ライオンズクラブ、京丹波町危機管理室からも参加いただきました。